

つ つなげよう未来へ！  
し 市民協働による  
ま まちづくり



平成27年度

# 組織目標の成果

～ 「協働型市政の確立」を目指して～



長崎県対馬市

… アジアに発信する歴史海道都市 対馬 …

# ～ 目 次 ～

I	組織目標の評価一覧	・・・・・・・・	1
II	組織目標の成果（個票）	・・・・・・・・	5
1	しまづくり戦略本部	・・・・・・・・	5
2	総務部	・・・・・・・・	10
3	総合政策部	・・・・・・・・	14
4	市民生活部	・・・・・・・・	23
5	福祉部	・・・・・・・・	29
6	保健部	・・・・・・・・	32
7	農林水産部	・・・・・・・・	36
8	建設部	・・・・・・・・	45
9	水道局（部）	・・・・・・・・	47
10	中対馬振興部	・・・・・・・・	49
11	上対馬振興部	・・・・・・・・	54
12	消防本部	・・・・・・・・	61
13	教育委員会事務局	・・・・・・・・	63

## 平成27年度 対馬市組織目標の評価一覧

部署	コード		目 標	評 価
	全体	個別		
しまじゅり戦略本部	1	01-01	地域循環システムの構築に向け検討を進めます。	○
	2	01-02	域学連携による地域づくりを推進します。	○
	3	01-03	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します。	△
	4	01-04	情報連携システムを構築します。	×
	5	01-05	対馬3高校の魅力化を推進します。	△
	6	01-06	航空運賃低廉化に向けた実証実験事業を取り組みます。	△
総務部	7	02-01	市内の土砂災害危険箇所や土砂災害特別警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを作成します。	△
	8	02-02	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表を行います。	△
	9	002-03	入札・契約の適正化に努めます。	○
総合政策部	10	003-01	市民協働による第2次対馬市総合計画の策定を進めます。	○
	11	03-02	対馬市人口ビジョン及び対馬市総合戦略の策定を進めます。	○
	12	03-03	水ビジネス事業を推進します。	×
	13	03-04	空き屋バンク制度登録を推進します。	△
	14	03-05	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	△
	15	03-06	国際交流イベントをはじめとした交流人口の拡大を図ります。	×
	16	03-07	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。	△
	17	03-08	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。	○
	18	03-09	国境を越えた文化交流の充実を図ります。	○
市民生活部	19	04-01	窓口ワンストップ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化に努めます。	○
	20	04-02	滞納処分の強化を図ります。	△
	21	04-03	各種団体が連携したリサイクル、ゼロ・エミッションを推進します。	△
	22	04-04	海山等の自然環境を保全する活動を推進します。	○
対馬市 サービスセンター	23	04-05	税の現年収納率の向上に努めます。	◎
	24	04-06	水道料金の収納率向上に努めます。	△

福祉部	25	05-01	高齢者福祉及び障害者福祉サービスの充実に努めます。	○
	26	05-02	保育料の収納率向上に努めます。	△
	27	05-03	職員相互の連携体制の構築による適正な支援サービスの提供に努めます。	○
保健部	28	06-01	健康つしま21計画の推進に努めます。	○
	29	06-02	慢性腎臓病（CKD）対策事業を実施します。	○
	30	06-03	市民健診の受診率向上に努めます。	△
	31	06-04	地域包括ケアシステムの構築を推進します。	○
農林水産部	32	07-01	対馬椎茸“やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業を実施します。	○
	33	07-02	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業を実施します。	△
	34	07-03	対馬猪鹿活用促進事業を実施します。	○
	35	07-04	学校給食地場農林水産物導入事業を実施します。	△
	36	07-05	「海洋保護区」の設定を進めます。	△
	37	07-06	「対馬食通祭」を開催します。	○
	38	07-07	魚礁の設置を進めます。	△
	39	07-08	水産物の輸送費補助を実施します。	○
	40	07-09	基盤整備工事の早期発注、早期完成に努めます。	△
建設部	41	08-01	市営住宅使用料未収金の縮小に努めます。	△
	42	08-02	公共工事の早期発注・早期完成に努めます。	○
（水道局）	43	09-01	水道事業及び簡易水道事業の経営統合を推進します。	×
	44	09-02	水道料金の収納率向上に努めます。	△
中対馬振興部	45	10-01	イベントと連携した体験型観光を推進します。	△
	46	10-02	観光地の景観維持活動を行います。	×
	47	10-03	窓口の適正かつ親切・丁寧な対応と管内の環境整備に努めます。	○
	48	10-04	税・水道料金の納付促進に努めます。	△
ス 峰 行 政 サ ー ビ ス	49	10-05	快適な窓口サービスの提供に努めます。	○
上対馬振興部	50	11-01	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進します。	△
	51	11-02	窓口サービスの適正・迅速化と電話対応の向上に努めます。	○
	52	11-03	公共工事の早期発注・早期完成に努めます。	△

上 対 馬 振 興 部	上 県 行 政 サ ー ビ ス セ ン タ ー	53	11-04	観光基盤の充実と体験型観光の推進に取り組みます。	○
		54	11-05	窓口及び電話対応の向上に努めます。	○
		55	11-06	地域イベント・ボランティア活動へ参加します。	○
		56	11-07	庁舎内外の清掃を徹底します。	○
消 防 本 部		57	12-01	分団車両の適正配置及び団員の安全装備品配備を進めていきます。	○
		58	12-02	AEDの使用方法等応急手当の普及啓発活動に取り組みます。	×
		59	12-03	住宅用火災警報器設置促進及び防火対象物の防火対策に取り組みます。	△
教 育 委 員 会 事 務 局		60	13-01	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。	○
		61	13-02	確かな学力・豊かな心を育む教育活動を推進します。	○
		62	13-03	しまの魅力に出会う日本の宝「しま」交流支援事業を実施します。	○
		63	13-04	文化財の保護・活用を図ります。	△

## ■ 集 計 表

項 目		結 果
◎	目標を上回る実績	1
○	目標どおりの実績	30
△	目標を下回る実績	26
×	目標を著しく下回る実績	6
—	評価不能	0
計		63



全体	No.1
個別	01-01

## 平成27年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	地域循環システムの構築に向け検討を進めます
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>「自立するふるさとのしま 対馬」をキャッチフレーズに、「海」「森林」「国際ビジネス」「生ゴミ」「地域コミュニティ」「域学連携」の6つの循環を提唱し、地域資源を活用した産業振興と循環型社会の実現に向けて、平成26年度に作成した3箇年計画に基づいて、調査や検討を進めます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進本部会議の開催 2回</li> <li>・プロジェクト部会（10部会）の開催 随時</li> <li>・市民や議会への進捗状況報告 1回</li> </ul>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進本部会議の開催：2回</li> <li>○プロジェクト部会（10部会）の開催</li> <li>  【海の循環】</li> <li>  ・海洋保護区設定と市場開設部会：1回</li> <li>  ・塩づくり部会：1回</li> <li>  【森林の循環】</li> <li>  ・森林資源循環活用部会：開催なし</li> <li>  ・国際「水」ビジネス部会：1回</li> <li>  ・生物多様性保全と集落づくり・人づくり部会：1回</li> <li>  【国際ビジネスの循環】</li> <li>  ・森づくり（主伐）海外モデル住宅展示プレカット工場整備部会：1回</li> <li>  【生ゴミの循環】</li> <li>  ・生ゴミ回収、堆肥化、生産物の給食利用部会：2回</li> <li>  【地域コミュニティの循環】</li> <li>  ・健康指導とスポーツ振興部会：1回</li> <li>  ・地域見守り体制整備、地域バス運行部会：3回</li> <li>  【域学連携の循環】</li> <li>  ・域学連携による地域づくり部会：2回</li> <li>○市民や議会への進捗状況の報告</li> <li>  12月市議会定例会に報告</li> </ul>	
	<b>3. 評価</b>	○
	循環型社会の実現に向けて、部会において検討を進めました。	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	平成28年度が3箇年計画の最終年度であり、計画に沿った進捗を図ります。	

全体	No.2
個別	01-02

## 平成27年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	域学連携による地域づくりを推進します
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>大学と地域が連携し、様々な地域課題の解決に向けた実践的な取り組みを進めたり、地域資源を活用した新たな産業や社会の枠組みを創出するなどし、地場産業や観光産業等の活性化を図るとともに、地域づくりを担う人材の育成にも努めます。</p> <p>【指標】</p> <p>①域学連携地域づくり実行委員会・作業部会の開催            ②学生実習の受入            ③学生の活動・滞在拠点の整備計画の作成            ④「対馬学フォーラム」の設立及び開催            ⑤こども対馬未来塾の開催</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>①域学連携地域づくり実行委員会・作業部会の開催            ・実行委員会 1回、作業部会(島内委員) 1回、作業部会(島外委員) 1回</p> <p>②学生実習等の受入            ・短期合宿「島おこし実践塾」 大学生18人、社会人2人、高校生14人            ・現場学「学生実習」 12プログラム、43人            ・学術研究 学術研究奨励補助研究6件、自由研究1件</p> <p>③域学連携活動・滞在拠点施設整備基本計画(素案)の作成</p> <p>④「対馬学フォーラム」の開催(平成27年12月13日、交流センター)            ・特別報告:東京農大岡田早苗教授、豊小学校            ・ポスター発表:62件 ・来場者:約300名</p> <p>⑤こども対馬未来塾の開催            ・夏休み子ども寺子屋            開催地区:久和、内院、瀬、巖原、佐賀、佐須奈、比田勝            延べ52回、869人参加            ・学び舎つしま 3箇所、延べ142回、709人参加</p>	
	<b>3. 評価</b>	○
		平成26年度に策定した域学連携地域づくり推進計画に基づいて事業を順調に実施している。
	<b>4. 今後の展開</b>	
		学生の受入プログラムを再構築することで域学連携事業を市民へ浸透させ、さらなる市民の参加も促していく。



全体	No.3
個別	01-03

## 平成27年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	様々な機関や業種が連携して産業の振興を目指します
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。</p> <p>また、「対馬市異業種間連携交流協議会」においても、異業種間で課題等を共有しながら、連携して産業の振興策を検討していきます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ワンストップ相談窓口（市役所）での相談受付：年20件 うち創業者の目標数：年9件</li> <li>○創業支援会議の開催 代表者会議2回、ワーキング部会4回</li> <li>○異業種間連携交流協議会の開催 3回</li> </ul>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワンストップ相談窓口（市役所）での相談受付 受付件数28件、うち創業者数2件</li> <li>○創業支援会議の開催 代表者会議1回、ワーキング部会2回</li> <li>○創業等支援事業補助金による支援 補助金交付件数 8件、5,147千円</li> <li>○地域資源活用セミナーの開催 1回</li> <li>○異業種間連携交流協議会の開催 2回</li> </ul>	
	<b>3. 評価</b>	△
	<p>創業や新商品開発等の相談は増加傾向にあるが、創業は2件と少なくまた新規の雇用も発生していない。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>ワンストップ相談窓口の啓発等により、創業希望者の掘り起こしをしながら、創業支援会議で支援し、創業につなげます。</p> <p>また、引き続き異業種間連携交流協議会においても、産業の振興策について検討を進めます。</p>	

全体	No.4
個別	01-04

平成27年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	情報連携システムを構築します
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>市役所内での情報共有及び市民への情報発信についてマニュアルを作成し、職員への説明会を行い周知徹底することで、より見える市政を目指します。</p> <p>【指標】</p> <p>①情報連携マニュアルの作成 担当者会議の開催 2回</p> <p>②職員説明会の開催</p> <p>③地域への情報発信システムの検討 担当者会議の開催 2回</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>①情報連携マニュアルの作成：作成できませんでした。</p> <p>②職員説明会の開催：実施していません。</p> <p>③地域への情報発信システムの検討：実施していません。</p>	
	<b>3. 評価</b>	×
	<p>方向性（テレビ会議、情報連携窓口の統一などの構築）が見いだせなかったため、事業の進捗を図ることができませんでした。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>市役所の内部の情報共有の徹底と、効果的な情報の発信・運用を行うための検討を行います。</p>	

全体	No.5
個別	01-05

## 平成27年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課名	新政策推進課
----	--------

No.	項目	対馬3高校の魅力化を推進します
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>市と高等学校とが連携・協働し、対馬3高校の維持・存続を図るため、高校の魅力化を推進します。</p> <p>【指標】</p> <p>①対馬市高校魅力化推進懇話会の開催 懇話会2回、ワーキンググループ1回</p> <p>②魅力化に関する地域意見交換会の開催（上・中・下3回）</p> <p>③対馬3高校魅力化構想の策定</p> <p>④島おこし協働隊や域学連携事業による高校魅力化サポート 学び舎つしま26回、島おこし実践塾への高校生受入、総合学習支援</p> <p>⑤3高校の情報発信支援（広報つしま連載掲載）</p> <p>⑥3高校への経済及び交通支援策等の検討</p> <p>⑦高校魅力化先進地視察</p>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
	<p>①対馬市高校魅力化推進懇話会の開催 懇話会1回</p> <p>②対馬3高校魅力化構想の策定：素案作成まで</p> <p>③島おこし協働隊や域学連携事業による高校魅力化サポート 学び舎つしま154回、島おこし実践塾への高校生受入、総合学習支援</p>	
	<b>3. 評価</b>	△
	<p>高校魅力化構想の素案を作成したものの、県・高校側との意見調整が行えず、策定までに至りませんでした。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>平成28年度から、長崎県が主体となり高校魅力化の推進（離島地区小規模校の魅力化「アイランド・チャレンジ事業」）を図るので、対馬市としても積極的に関わりを持ちます。</p>	

全体	No. 6
個別	01-06

## 平成27年度 [しまづくり戦略本部] 目標の成果

課 名 未来創造・交通政策課

No.	項 目	航空運賃低廉化に向けた実証実験事業を取り組みます。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>対馬の活性化対策の1つとして航空運賃低廉化制度創設を国に求めていくためにも、島外利用者（島民も利用は可能）を対象とした運賃低廉化モデル事業を実施します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験期間 3ヶ月間</li> <li>・期間中の旅客者数 例年比5%増（500人/月）</li> </ul>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
		<p>航空運賃低廉化の実証実験は、全日本空輸のご協力を得て、第1弾として9月～11月までの3ヶ月間、第2弾として2月～3月までの約2ヶ月間実施することができました。</p> <p>期間中の飛行機利用者としましては、73,986人で例年比▲2.9%（▲2,201人）でした。</p>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>実証実験期間中の飛行機利用者は2,200人程度減少したものの、この原因は、同時期に原油価格が下がり、ジェットフォイルの運賃に加算されている燃油サーチャージが0円となり、島民が対馬-博多間を往復で利用した場合9,500円（島民割引3DAY S利用の場合）と前年よりも4,200円安く利用できることから、多くの島民が飛行機からジェットフォイルへ流れたと考えられます。</p> <p>このため、ジェットフォイルは期間中8,500人程度増加しております。</p> <p>以上のことから、利用者数は目標を達成することはできなかったものの、一定の効果はあったものと考えます。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	
		<p>「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」が可決されたことから、今回の実証実験の結果を検証し、観光客が対馬に来やすい航空運賃の設定となるよう、国等に求めて行きます。</p>

全体	No. 7
個別	02-01

平成27年度 [総務部] 目標の成果

課名	総務課
----	-----

No.	項目	市内の土砂災害危険箇所や土砂災害（特別）警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを作成します。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>市内の土砂災害危険箇所や土砂災害（特別）警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを作成し、防災意識の高揚と防災知識の普及啓発を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年1月までにマップ案を作成</li> <li>・平成28年2月に印刷開始</li> <li>・平成28年3月配布（広報配布時）</li> </ul>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年9月補正予算にてマップデータ作成業務委託費(11,135,000円)、印刷業務委託費(6,280,000円)計上</li> <li>・平成27年11月16日付けで株式会社パスコ 長崎支店と業務委託契約</li> </ul> <p>成果 ベース地図 ゼンリン住宅地図2016.1 掲載内容 土砂災害危険箇所、土砂災害(特別)警戒区域、避難経路、消火栓、防火水槽、指定避難所、浸水区域、冠水箇所、救急病院、避難行動要支援者施設、消防格納庫</p>	
	<b>3. 評価</b>	△
	<p>当初は、土砂災害危険箇所など行政側が持つ情報を基本に登載してする方向で年度内の完成を予定しておりましたが、実施段階において、浸水区域や冠水箇所など特異な地域の情報と主要な避難経路を表示するという整備方法の転換を行うことにより、その情報収集と整理に時間を要したため、年度内完成に至らず繰越事業となった。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>マップの配布は遅くとも8月末までとしており、配布後は、市民参加の避難訓練などに活用するなど、地域防災意識の高揚と防災知識の普及啓発を図ります。</p>	

全体	No.8
個別	02-02

## 平成27年度 [総 務 部] 目標の成果

課 名	財 政 課
-----	-------

No.	項 目	健全な財政運営の執行と財政状況のわかりやすい公表																		
	<b>1. 組織目標</b>																			
	【 内 容 】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財政状況や予算・決算などについて、市報・ホームページにわかりやすい形で掲載し、市の財政状況に関する市民の理解を深められるように努めます。</li> <li>・将来にわたって健全な財政運営を確保するため、第3次対馬市中期財政計画（計画期間H28～H32）を策定します。</li> <li>・将来の公債費抑制を図るため、積極的な繰上償還を実施します。</li> <li>・公共施設等総合管理計画策定（H28までに策定）及び新地方公会計整備（H29までに整備）に取り組みます。</li> </ul>																		
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算、決算の状況について広報、ホームページに掲載</li> </ul>																		
	<b>2. 実績（成果）</b>																			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況等公表状況</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">公表項目</th> <th style="text-align: center;">ホームページ</th> <th style="text-align: center;">市報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度当初予算</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○（概要版）</td> </tr> <tr> <td>平成26年度下半期及び平成27年度上半期予算の執行状況</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成26年度決算</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>第3次対馬市中期財政計画</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰上償還 500,000千円</li> </ul>	公表項目	ホームページ	市報	平成27年度当初予算	○	○（概要版）	平成26年度下半期及び平成27年度上半期予算の執行状況	○	○	平成26年度決算	○	○	平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	—	第3次対馬市中期財政計画	×	—
公表項目	ホームページ	市報																		
平成27年度当初予算	○	○（概要版）																		
平成26年度下半期及び平成27年度上半期予算の執行状況	○	○																		
平成26年度決算	○	○																		
平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率	○	—																		
第3次対馬市中期財政計画	×	—																		
	<b>3. 評 価</b>	△																		
		<p>当初予算をわかりやすく説明した「対馬市のしごと 平成27年度予算」を作成し、区長会議で配付するとともに、ホームページで公表しました。平成26年度の決算状況についても広報に掲載しました。</p> <p>中期財政計画については、普通交付税の見込や今後の地方債計画等について見直しは行いましたが、市長交代等を考慮し、計画自体は28年度に策定することとしました。</p> <p>公共施設等総合管理計画については、全庁的な作業部会を立ち上げ平成28年度中の策定に向けて作業を進めています。</p>																		
	<b>4. 今後の展開</b>																			
		<p>今後ますます厳しい財政状況となることが予想されるので、しっかりとした財政見通しを立て健全な財政運営に努め、市の財政状況について市民にわかりやすい形で公表していきます。</p> <p>地方公会計整備については、公共施設等総合管理計画策定とともに平成26年度に国より整備促進の要請がなされたところであり、示されたスケジュールに沿って取り組みます。</p>																		

全体	No.9
個別	02-03

平成27年度 [総務部] 目標の成果

課名	財政課
----	-----

No.	項目	入札・契約の適正化
	<b>1. 組織目標</b>	
	【内容】	<p>常に入札契約制度の検証を行い、公正性の確保・客観性・透明性の向上に努めます。また、現下の経済情勢を考慮し、国・県の動向と歩調を合わせ、適正な落札率となるよう運用を図ります。</p> <p>また、現在の入札参加資格者申請について検証を行い必要に応じて改めるよう努めます。</p> <p>さらに、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めるよう努めます。</p>
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低制限基礎価格の乗率を建設工事については90%、コンサル業務、役務については75%とすることを継続し適正な落札率となるよう運用を図ります。</li> <li>・現在の入札参加資格者申請について、検証を行い、必要に応じて改めます。また、業者の格付けについても検証し、必要に応じて改めます。</li> <li>・当初発注予定工事公表分（96件）の入札実施目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1四半期 19件</li> <li>・第2四半期 51件</li> <li>・第3四半期 22件</li> <li>・第4四半期 4件</li> </ul> </li> <li>・入札結果をホームページで公表します。</li> <li>・平成27年度より入札時に提出を義務づけた工事費内訳書について制度の周知徹底に努めます。</li> </ul>
	<b>2. 実績(成果)</b>	
		<p>本課が取り扱った入札契約件数は、建設工事170件、建設工事関連コンサルの入札77件、物品・役務等73件で、平均落札率は、建設工事では91.66%でほぼ昨年と同等の落札率でした。また、コンサル業務の平均落札率は82.70%でした。物品・役務の平均落札率については81.48%でした。</p> <p>平成28年度からホームページで入札結果を公表しています。</p>
	<b>3. 評価</b>	○
		<p>落札率はほぼ昨年と同等であり、適正に推移しているものと考えます。</p> <p>建設工事の入札における工事費内訳書の提出により見積能力のないような不良・不適格業者の参入を排除し、併せて談合等の不正行為やダンピング受注の防止を図りました。</p> <p>建設業者等の信用及び技術力等を重視するとともに公正自由な競争を図ることができました。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	
		<p>入札契約制度を常に検証し、公正性・公平性・客観性を追求し、制度の構築に努めます。</p>

全体	No.10
個別	03-01

## 平成27年度 [総 合 政 策 部] 目標の成果

課 名	政 策 企 画 課
-----	-----------

No.	項 目	市民協働による第2次対馬市総合計画の策定を進めます。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>平成28年度開始の第2次対馬市総合計画の策定において、市民総出による手作りの計画になるよう、また、地域の資源や宝、人材を活用した地域間連携による新規産業化を目指し、地域マネージャーや外部・内部支援員、地域による協働の取り組みとして策定する地域づくり計画を最大限反映させた計画とします。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>地域づくり宣言及び各種団体等ヒアリング結果を基に、①ひとづくり、②なりわいづくり、③ふるさとづくり、④つながりづくり の4つを主要テーマとし、短期的に集中して実施する事業、施策を網羅した「第2次対馬市総合計画」を策定します。</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>地域づくり宣言は、全行政区（181行政区）中、98地区での作成に留まったものの、各種団体へのヒアリング、市民へのヒアリング、地区住民、島外の対馬出身の若者等へのアンケート調査等を反映させるとともに、庁舎内各部局との意見交換の機会を複数設け、実現可能性等も踏まえた第2次対馬市総合計画とし、平成27年12月市議会定例会において上程し、可決され、平成28年4月から施策を実施できることとなった。</p>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>地域づくり宣言の策定状況や庁舎内各部局との調整、計画案の校正作業等により、当初計画スケジュールと比較すると、3ヶ月程度の遅れはあったものの、市議会の承認をいただき公表することができた。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>計画を広く市民に理解いただくため、各種会議での内容説明をはじめ、市報へのコーナー化（5月号より開始）等、情報発信を強化する。</p> <p>また、計画に掲げる施策の進捗管理についても、年1回の調査実施により、「対馬市総合計画等審議会」にて検証等も含め実施していきます。</p>	



全体	No.1 1
個別	03-02

## 平成27年度 [総 合 政 策 部] 目標の成果

課 名	政 策 企 画 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬市人口ビジョン及び対馬市総合戦略の策定を進めます。
5	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	【 内 容 】	地方の人口減少抑制のため、国が示す「産・学・官・金・労・言」にまちづくり団体、女性、若者、議会、公募委員等、オールつしまの体制にて、①移住対策、②子育て環境整備、③雇用・仕事づくり対策の3つの施策を柱として対馬市総合戦略を策定します。
	【 指 標 】	①移住対策、②子育て環境整備、③雇用・仕事づくり対策に係る具体的な事業を網羅した総合戦略及び今後40年から50年後の将来人口や現在人口の社会・自然増減、産業構造等、総合戦略策定の基礎となる対馬市人口ビジョンを平成27年12月までに策定します。
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>本市ならではの人口減少対策を網羅した「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、国が示す各分野の委員に市議会議員、総合計画等審議会委員、その他まちおこし団体、Uターン者、公募委員等オール対馬の体制による対馬市総合戦略推進会議と庁舎内各部局長で構成する対馬市人口減少対策本部との両輪により計画どおり策定できた。</p> <p>◎対馬市総合戦略推進会議：4回 ◎対馬市人口減少対策本部会議：3回 3部会：各2回</p>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>本市の人口や産業形態をはじめ、合計特殊出生率や社会・自然動態等の現状に、目標設定を加えた将来人口推計、また、子育て世帯やUターン意向者へのアンケート調査結果等を盛り込んだ「対馬市長期人口ビジョン」及びビジョンで示した人口減少対策の方向性を具現化し、4つの重点戦略にそれぞれ重要行政評価指標（KPI）を設定、また、目標達成のための主要施策を掲げた「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成27年度～平成31年度）を策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年11月：市議会全員協議会で説明</li> <li>・平成27年12月：公表</li> </ul>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>毎年、戦略内施策の進捗管理及び重要行政評価指標（KPI）の達成状況を対馬市総合戦略推進会議にて行うとともに、市民ニーズ、社会情勢の変化に合わせ、随時、戦略の見直しを行います。</p>

全体	No.1 2
個別	03-03

## 平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	水ビジネス事業を推進します。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>一般県道瀬浦巖原港線の「内山坂トンネル」における湧水について、新たな資源と認識し、過去2ヶ年の調査結果及び昨年度実施した、熊本県内の地方公共団体が一定の関与をしている小規模施設の運営状況、市場の状況を整理したうえで、水ビジネス事業の今後、当面の取組みに一定の結論を出すこととします。</p> <p>なお、島内にて起業意向のある事業者との協議を行なうとともに島外事業意向者の発掘に努めます。</p> <p>【指標】</p> <p>平成27年度：市内の湧出地の現地調査及び湧出量（概算）調査 事業意向企業への訪問、協議活動</p>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
	<p>平成27年第1回PTにおいて、平成27年2月に実施した熊本県内の地方公共団体が一定の関与をしている事業者の運営及び生産規模の状況及び現在の社会情勢等の検討を行ない、対馬での水ビジネス事業の実現性を検討した。</p> <p>その結果、大手企業が参入している中、市場的に国内は満杯状況であること、また、韓国への輸出についても韓国内の価格設定やブランド力強化が必須であること、事業開始に際しては、まずは販路等の複数確保が前提であること等を考慮し、当分の間は、市場等の状況を注視していくことが望ましいということと合意。</p> <p>また、島内参入意向事業者との面談、協議により、現時点での参入意向は無い旨を確認した。新たな事案としては、県グリーンニューディール推進室への派遣職員からの情報により、水ビジネス意向事業者に対し内山地区と洲藻地区の水質検査結果を提供中。</p>	
	<b>3. 評価</b>	×
	<p>熊本県内の小規模事業者の状況、国内及び韓国内市場、社会情勢等により、当分の間は、市場等の状況を注視することとなった。</p> <p>また、県グリーンニューディール推進室からの新たな情報提供は無く、昨年度から進展はあっていない。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>新たな民間事業意向者があった場合、また、新たな協議事項、展開があった場合対応します。</p>	

全体	No.13
個別	03-04

## 平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	市民協働・自然共生課
----	------------

No.	項目	空き家バンク制度登録を推進します。
	1. 組織目標	
	【内容】	U・Iターン対策として、移住者向け不動産情報の充実を目指し、空き家バンク登録を推進します。
	【指標】	新規空き家バンク登録件数 5件
	2. 実績(成果)	
		空き家バンク登録は1件となったものの(既に居住済み)、紹介できる物件の模索は行っており、移住希望者に対して住居の提供に関する協力は行ってきたところである。
	3. 評価	△
		登録件数は目標数を充足していない状況ではあるが、個別相談があったものについては、住宅を探す相談については、個別に住宅探しの協力を行うことはできたため、目的はある程度達成しているものと考えられる。
	4. 今後の展開	
		今後も引き続き空き家バンクの登録の推進と、移住者の相談による住宅探しの協力を行い、対馬への移住者獲得を目指します。

全体	No.14
個別	03-05

平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>観光案内・誘導板の設置により、観光情報提供機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内・誘導板を島内全域に16基設置予定</li> </ul>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内・誘導板を島内全域に15基設置しました。</li> </ul>	
	<b>3. 評価</b>	△
	<p>目標指数を下回る設置数とはなりましたが、観光案内・誘導板を設置することで、市内各所に点在する観光地へのスムーズな誘導を促すことで、観光客の満足の向上につながると考えます。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>団体旅行から個人旅行へのニーズが高まり旅行形態が多様化してきています。また外国人観光客も急増しており、観光案内・誘導板の設置による観光地までのスムーズな誘導を行うよう引き続き、事業を継続します。</p>	

全体	No.15
個別	03-06

## 平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項 目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大												
	<b>1. 組織目標</b>													
	<p>【内容】</p> <p>韓国で流行のMER Sの影響が懸念されますが、通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国をはじめとする東アジアからの観光客の増加を図ります。</p> <p>【指標】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・国境マラソンIN対馬</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,400人</td> </tr> <tr> <td>・対馬厳原港まつり</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">31,000人</td> </tr> <tr> <td>・つしま海道音楽祭</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">1,500人</td> </tr> <tr> <td>・韓国人観光客数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">200,000人</td> </tr> </table>	・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,400人	・対馬厳原港まつり	観客数	31,000人	・つしま海道音楽祭	観客数	1,500人	・韓国人観光客数		200,000人	
・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,400人												
・対馬厳原港まつり	観客数	31,000人												
・つしま海道音楽祭	観客数	1,500人												
・韓国人観光客数		200,000人												
	<b>2. 実績(成果)</b>													
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・国境マラソンIN対馬</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,306人</td> </tr> <tr> <td>・対馬厳原港まつり</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">約30,000人</td> </tr> <tr> <td>・つしま海道音楽祭</td> <td>観客数</td> <td style="text-align: right;">381人</td> </tr> <tr> <td>・韓国人観光客数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">213,676人</td> </tr> </table>	・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,306人	・対馬厳原港まつり	観客数	約30,000人	・つしま海道音楽祭	観客数	381人	・韓国人観光客数		213,676人	
・国境マラソンIN対馬	参加者数	1,306人												
・対馬厳原港まつり	観客数	約30,000人												
・つしま海道音楽祭	観客数	381人												
・韓国人観光客数		213,676人												
	<b>3. 評価</b>	×												
	<p>国境マラソンIN対馬は目標値に近い参加者数となりました。</p> <p>また、対馬厳原港まつりについては、朝鮮通信使行列の再現が3年ぶりに実施され、観客数は約3万人にのびりました。</p> <p>しかしながら、対馬ちんぐ音楽祭から名称を変更した、つしま海道音楽祭の観客数は381人と目標値を大幅に下回りました。</p>													
	<b>4. 今後の展開</b>													
	<p>引き続き各イベントの実行委員会と連携しながら、対馬の宣伝事業や交流イベントの支援を効果的に行っていくことで、観光客の誘客に努めていきたいと思えます。特に、つしま海道音楽祭は実行委員会と連携を密にし、これまでの流れも重視しながら活動および実施の後押しを行います。</p>													

全体	No.16
個別	03-07

## 平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。
	<b>1. 組織目標</b>	
	【内容】	<p>市内商店街は、人口の減少や過疎高齢化などにより以前の活気が失われ、にぎわいが低迷し続けています。</p> <p>しかしながら増加している韓国人観光客などの消費を取り込むことが出来れば、商店街の活性化につながる絶好の好機でもあります。</p> <p>この状況を活かすため、各事業者向けの研修会等を実施し知識や意識の啓発を行うとともに、商工業支援事業により資金面の下支えをしていきます。</p>
	【指標】	<p>商工業活性化の協議 年3回</p> <p>対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金</p> <p>対馬市農商工連携支援事業補助金</p> <p>対馬市中小企業振興(創業)資金融資条例</p> <p>対馬域内消費拡大事業</p>
	<b>2. 実績(成果)</b>	<p>商工業活性化協議・・・年10件以上(商工会、金融機関、企業等)</p> <p>対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金・・・金額1.6百万円 採択3件</p> <p>対馬市農商工連携支援事業補助金・・・1.6百万円 採択3件</p> <p>対馬市小規模企業融資補助金・・・融資残高76.2百万円と高水準を維持</p> <p>対馬域内消費拡大事業・・・対馬市プレミアム商品券補助金、対馬域内消費拡大事業委託(たべのる券発行)</p>
	<b>3. 評価</b>	△
		<p>補助金については、周知不足などもあり採択額が少額にとどまりました。今後は周知徹底を図りたいと思います。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	<p>引き続き商工業の発展・振興に努力していきます。</p> <p>新規の起業だけでなく、既存の事業者のサポートを対馬市商工会と連携しながら行っていきます。</p>

全体	No. 17
個別	03-08

## 平成27年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	地場製品の更なる消費拡大に取り組みます。						
	<b>1. 組織目標</b>							
		<p>【内容】</p> <p>物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品PR・販路開拓を図ります。</p> <p>福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のPRと販路開拓及び対馬製品取り扱い店舗拡大に取り組みます。</p> <p>一昨年オープンした「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、PR・集客・誘客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。</p> <p>商品づくりの専門家による勉強会や指導・相談会の開催、バイヤーとの商談会を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路開拓を図ります。</p> <p>「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。</p> <p>【指標】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">・九州管内での物産展等の開催</td> <td style="text-align: right;">5回以上</td> </tr> <tr> <td>・各種物産展の企画・出展・斡旋</td> <td style="text-align: right;">10回以上</td> </tr> <tr> <td>・海山交流イベント</td> <td style="text-align: right;">5回</td> </tr> </table>	・九州管内での物産展等の開催	5回以上	・各種物産展の企画・出展・斡旋	10回以上	・海山交流イベント	5回
・九州管内での物産展等の開催	5回以上							
・各種物産展の企画・出展・斡旋	10回以上							
・海山交流イベント	5回							
	<b>2. 実績(成果)</b>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の物産展では、主に福岡県内で8回、東京6回、長崎4回、大阪1回、釜山1回のほか多数の出展・出品を行いました。(合計30回)</li> <li>・「よりあい処つしま」において、食材PRフェアを4回開催しました。(まぐろ、あなご、赤牛、アカムツ)</li> <li>・海山交流イベントでは、熊本県山江村と4回、岐阜県中津川市と1回の交流事業を行いました。</li> </ul>						
	<b>3. 評価</b>	<input type="radio"/>						
		<p>指標については、数値目標を達成することができました。</p> <p>物産展への出展により、消費者の求める商品の把握ができ、商品の改良・新商品の開発等売れる商品づくりに繋がりました。また、飲食店やホテル等に食材を提供することで、物産品及び対馬のPRが図られ認知度向上に繋がりました。</p>						
	<b>4. 今後の展開</b>							
		<p>継続して物産展を開催・出展することで知名度の向上を図るとともに、都市圏でのイベント開催・出展による認知度向上及び販路拡大を行います。</p> <p>また消費者ニーズに応じた商品開発や販売方法等の改善を図るため、専門家による勉強会や相談・指導、バイヤー商談会を開催し売り上げの増加に繋げて行きます。</p>						

全体	No.1 8
個別	03-09

## 平成27年度 [ 総合政策部 ] 目標の成果

課 名	観光交流商工課 歴史のまちづくり・世界遺産登録推進室
-----	-------------------------------

No.	項 目	国境を越えた文化交流を充実します
	<b>1. 組織目標</b>	
	【 内 容 】	1 対馬歴史海道博物館(仮称)施設の整備推進を行います。 2 日本遺産の認定へ向けた取組とそれを生かした対馬魅力アップ事業を行い、外国からの観光客増加を図ります。 3 朝鮮通信使の世界記憶遺産登録申請へ向けて、その活動支援を行います。
	【 指 標 】	1 ① 建設に係る県との協議 24回 ② 建設に係る文化庁との協議 3回 ③ 施設整備へ向けた設計業務事務準備(今年度中の設計委託開始) ④ みんなの博物館づくり(ソフト)事業の開始 シンポ3、WS3、講演会1 2 ① 日本遺産認定後の市内外への周知活動 講演会1回 ② 日本遺産の構成資産を生かした広報・学習活動 パネル設置 3 ① 関係会議への参加 2回 ② 随時の支援・助言
	【達成年度】	1 対馬歴史海道博物館(仮称)の完成 平成30年度 2 今年度、対馬市の日本遺産認定 3 朝鮮通信使関連遺産のユネスコ世界記憶遺産登録申請 平成27年度中
	<b>2. 実績(成果)</b>	1 ①②③④ 県協議13回(-9)、文化庁協議0(-3)、ソフト事業ではシンポジウム3(±0)、ワークショップ3(±0)、講演会1(±0)の実績。協働隊の加入によりソフト事業は、ほぼ予定通り実施できた。 2 ①② 日本遺産については、認定記念講演1、観光情報館にて「パネル展」の開催、市広報での特集紹介を行っている。 3 ①② 関係会議へ参加2。その他の支援等は行っていない。事務局申請完了。
	<b>3. 評 価</b>	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 博物館建設に関する事業推進については、年度末の時点でみれば、目標に近い成果は上げられている。本年度の反省を踏まえ、広く事業広報をはじめ、どのように市民に伝え、盛り上げていくかが課題であると考えている。</li> <li>・ 日本遺産についてはまだまだ知名度が足りず、最小限の広報周知で終わった。</li> <li>・ 朝鮮通信使記憶遺産登録関係については、他部署が担当をされており、十分な連携、支援まで至るような業務はできていない。</li> <li>・ 本年度から加わった島おこし協働隊(2名)の活躍は大きい。</li> </ul>
	<b>4. 今後の展開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度からは、博物館建設については1ステップ上がり、いよいよ形になっていく。長崎県、文化庁と協議を持ちながら設計業務を予定どおりに進め、博物館完成平成30年度の達成目標へ今後も市をあげて進めていく。</li> <li>・ 日本遺産については、関係者とも協議をしながら、資源の活用を観光客増加に結びつけられるような取組を模索していく。</li> </ul>



全体	No.19
個別	04-01

## 平成27年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	市 民 課
-----	-------

No.	項 目	窓口ワンストップ化、親切な窓口づくり、証明書交付事務の適正化と効率化
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市役所の全体業務を把握し、来訪者への適正な説明、案内に努め、窓口ワンストップ化を推進します。</li> <li>2 あいさつの励行、積極的な声かけ、丁寧な対応による親切な窓口づくりを推進します。</li> <li>3 各窓口センター及び郵便局における証明書等交付事務の現状把握と見直しを行い、迅速な処理と正確な事務を確保します。</li> <li>4 番号制度導入にともない、広報等による周知を行うとともに窓口での適切な対応を行います。</li> </ol>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窓口サービスについては、当課以外の業務への問い合わせや窓口への誘導が細やかに対応できた。</li> <li>・ カウンターからの積極的な声かけは、電話対応や窓口センター・郵便局の証明書交付事務が重なった際に十分な対応ができなかった。</li> <li>・ 5郵便局へ訪問し事務改善や要望等の聞き取りを行った。なお、郵便局サイド新規に取扱を行いたい事務は、国の法改正が必要であるため、当分の間は現行の証明書交付事務の委託を行う。</li> <li>・ 個人番号カードの交付事務にあたり、マニュアルを作成し適切な事務処理に努めた。</li> </ul>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>昨年に引き続き、市民課職員は接遇の向上を図り、他の窓口への案内も積極的に行い、一応の成果が出たと考えます。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>課員は、各自専門分野の知識を高め、市民のお役に立てる窓口づくりを行います。</p> <p>各窓口センター、郵便局の証明書交付事務は事務の現状を把握し、迅速かつ正確な事務を実現します。</p> <p>番号制度は、具体的な番号の使い方や利用場面などをわかりやすく広報していきます。</p>	

全体	No.20
個別	04-02

## 平成27年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	税務課
----	-----

No.	項目	滞納処分の強化																												
	<b>1. 組織目標</b>																													
	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞納者対策の強化として、厳正な滞納処分を実施するため、積極的に財産調査、預貯金調査、生命保険等の調査を行い差押えの実施および滞納処分の停止等滞納整理の充実を図る。</li> <li>・臨戸徴収から自主納付(口座振替等)への推進</li> <li>・不動産公売の強化</li> </ul>																												
	【指標】																													
	27年度目標	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">市税</td> <td style="width: 15%;">現年分徴収率</td> <td style="width: 15%;">97.50%</td> <td style="width: 15%;">前年度実績</td> <td style="width: 15%;">97.26%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>15.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>11.40%</td> </tr> <tr> <td>国保税</td> <td>現年分徴収率</td> <td>92.40%</td> <td>前年度実績</td> <td>92.32%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>12.00%</td> <td>前年度実績</td> <td>10.40%</td> </tr> </table>	市税	現年分徴収率	97.50%	前年度実績	97.26%		滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	11.40%	国保税	現年分徴収率	92.40%	前年度実績	92.32%		滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	10.40%								
市税	現年分徴収率	97.50%	前年度実績	97.26%																										
	滞納分徴収率	15.00%	前年度実績	11.40%																										
国保税	現年分徴収率	92.40%	前年度実績	92.32%																										
	滞納分徴収率	12.00%	前年度実績	10.40%																										
	<b>2. 実績(成果)</b>																													
	平成27年度実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;">目標徴収率に対する差</td> </tr> <tr> <td>市税</td> <td>現年分徴収率</td> <td>97.57%</td> <td>0.07%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>12.78%</td> <td>△ 2.22%</td> </tr> <tr> <td>国保税</td> <td>現年分徴収率</td> <td>92.25%</td> <td>△ 0.15%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納分徴収率</td> <td>10.59%</td> <td>△ 1.41%</td> </tr> </table>				目標徴収率に対する差	市税	現年分徴収率	97.57%	0.07%		滞納分徴収率	12.78%	△ 2.22%	国保税	現年分徴収率	92.25%	△ 0.15%		滞納分徴収率	10.59%	△ 1.41%								
			目標徴収率に対する差																											
市税	現年分徴収率	97.57%	0.07%																											
	滞納分徴収率	12.78%	△ 2.22%																											
国保税	現年分徴収率	92.25%	△ 0.15%																											
	滞納分徴収率	10.59%	△ 1.41%																											
	差押実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;"></td> <td style="width: 15%;">(平成27年度)</td> <td style="width: 15%;">(平成26年度)</td> <td style="width: 30%;">増減</td> </tr> <tr> <td>・一般(預金・生命保険・給与等)</td> <td>156件</td> <td>243件</td> <td>△ 87件</td> </tr> <tr> <td>・不動産(搜索含む)</td> <td>21件</td> <td>31件</td> <td>△ 10件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>177件</td> <td>274件</td> <td>△ 97件</td> </tr> <tr> <td>滞納処分の停止実績</td> <td>202件</td> <td>274件</td> <td>△ 72件</td> </tr> <tr> <td>口座引落件数</td> <td>38,814件</td> <td>38,919件</td> <td>△ 105件</td> </tr> <tr> <td>不動産公売実績</td> <td>15件中7件</td> <td>10件中6件</td> <td></td> </tr> </table>		(平成27年度)	(平成26年度)	増減	・一般(預金・生命保険・給与等)	156件	243件	△ 87件	・不動産(搜索含む)	21件	31件	△ 10件	計	177件	274件	△ 97件	滞納処分の停止実績	202件	274件	△ 72件	口座引落件数	38,814件	38,919件	△ 105件	不動産公売実績	15件中7件	10件中6件	
	(平成27年度)	(平成26年度)	増減																											
・一般(預金・生命保険・給与等)	156件	243件	△ 87件																											
・不動産(搜索含む)	21件	31件	△ 10件																											
計	177件	274件	△ 97件																											
滞納処分の停止実績	202件	274件	△ 72件																											
口座引落件数	38,814件	38,919件	△ 105件																											
不動産公売実績	15件中7件	10件中6件																												
	<b>3. 評価</b>	△																												
	<p>平成27年度の徴収率は、目標徴収率は達成できなかったものの、現年・繰越合計での徴収率は76.84%で、前年を1.97%上回った。税金全体に対する滞納繰越分の占める割合が依然として22.81%と高く、繰越分の徴収率が思うように伸びなかった。</p> <p>また、国保税の現年分は、昨年に引続き徴収率92%を上回った。今年度の一般税においては、市県民税の特別徴収を推進していることもあり、全体的に現年分の徴収率は上昇の傾向にある。</p> <p>昨年に比べ、差押件数は減っているが、滞納処分の停止を含め、財産調査等の滞納整理が進んでいるものと思われる。</p> <p>また、納税相談等により自主納付は微増ではあるが増加の傾向にあり、更なる推進に努めたい。</p>																													
	<b>4. 今後の展開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規滞納者への早期接触を計り、滞納の解消および滞納世帯の減少に努めます。</li> <li>・滞納世帯の分析、実態の把握を行い、効率的な滞納整理に取り組みます。 (滞納整理重点地区を選び、滞納整理の強化にあたります。)</li> <li>・長期差押不動産の換価価値について、精査を行い、効率のよい滞納整理を計ります。</li> <li>・分納誓約者及び継続債権差押者の履行監視を強化します。</li> <li>・現年分・繰越分合わせた未収額が、前年繰越額を上回らないよう努力します。</li> </ul>																												

全体	No. 2 1
個別	04-03

## 平成27年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	環境政策課
----	-------

No.	項目	各種団体が連携したリサイクル、ゼロエミッションを推進します。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気野菜コンテスト」を開催している市民活動団体や生ごみ堆肥化の活動を行う各種団体を支援します。</li> <li>・生ごみと廃食油資源の再利用システム実証実験に取り組みます。</li> </ul> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回元気野菜コンテスト開催への支援（参加人数：100名）</li> <li>・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施（回収世帯：3,000世帯）</li> <li>・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減（生ごみ回収量：300 t）</li> </ul>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回元気野菜コンテスト開催（平成28年2月7日開催 参加者約100人）</li> <li>・生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業の実施（回収世帯：1,414世帯、週2回実施）</li> <li>・生ごみ堆肥化推進等によるごみ量の削減（生ごみ削減量：約170 t）</li> </ul>	
	<b>3. 評価</b>	△
	<p>昨年度に引き続き、今年度も生ごみ・廃食油資源再利用システム実証実験事業に取り組み、1,414世帯、週2回の回収を実施しました。今年度の生ごみ回収量も前年度より増加し、約170 tとなっており、その分ごみ量の削減にも繋げることができました。</p> <p>しかしながら、目標としていた世帯数である3,000世帯、生ごみ回収量300 tには届かなかったため、平成28年度は再度、市内全地区の集会等に出向き、またはCATV、広報誌等を通じて、事業説明と協力依頼を行います。また、委託職員の戸別訪問による事業説明と協力依頼も行います。なお、事業系生ごみについても回収量の増加を図るため、収集体制の構築を進めていきます。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>平成28年度も生ごみ・廃食油の分別収集及び堆肥化の実証実験に取り組み、将来的な市民全域での生ごみ等の回収に向けて収集体制の構築を図るとともに、回収した生ごみ等については、「生ごみ等堆肥化施設」を活用して、堆肥の品質確立及び供給体制の検討も行い、取り組みを進めていきます。</p>	

全体	No. 2 2
個別	04-04

## 平成27年度 [市民生活部] 目標の成果

課名	環境政策課
----	-------

No.	項目	海山等の自然環境を保全する活動を推進します。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸漂着物処理推進法及び長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、漂着物被害が著しい海岸を中心に海岸漂着物の円滑な処理を進めていきます。</li> <li>・海岸漂着物等の発生抑制のための関係者間の連携・交流等を目的とした環境学習を広く開催します。</li> </ul> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に実施した長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金による漂着ごみの回収処理を実施します。</li> <li>・日韓市民ビーチクリーンアップ事業及び漂着ごみ回収イベントを実施します。(2回)</li> <li>・海岸漂着物回収、処理予定数量：トン袋で17,000袋</li> </ul>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度の海岸漂着ごみについては、長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用しながら、トン袋で8,185袋回収しました。</li> <li>・日韓海岸清掃フェスタIN対馬事業の実施（平成27年8月23日に対馬市と市民活動団体の共同主催で実施しました。韓国人ボランティア31人、島内外の日本人ボランティア90人が参加し、約80㎡の漂着ごみを回収しました。また、シンポジウム及びワークショップも行い、有意義な意見交換の場となりました。）</li> <li>・2015日韓市民ビーチクリーンアップ事業の実施（平成27年5月31日に韓国釜山外大の学生、市民等219人が参加し、約90㎡の漂着ごみを回収しました。）</li> </ul>
	<b>3. 評価</b>	○
		<p>平成27年度も長崎県海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、大規模な海岸漂着物の回収を行い、海岸環境や景観に対し一定の成果を得られました。また、韓国釜山外大生との海岸漂着物回収イベント「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」、対馬市と市民活動団体の共同主催でのイベント「日韓海岸清掃フェスタIN対馬」を開催し、海岸漂着物の発生抑制対策が図られました。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	
		<p>漂着ごみ対策は大規模な回収等により、一定の成果はあがっているものの、現状は漂着、回収の繰り返しであり、今後も継続的な漂着ごみの回収に取り組んでいかなければなりません。回収、処理経費の対応のため、今後も国、県による財政支援を要望していきます。</p> <p>また、漂着ごみ対策の根幹である発生抑制対策に向けた取り組みも必要であり、「日韓市民ビーチクリーンアップ事業」など、国際交流事業等を通じて今後も継続的に普及、啓発に取り組んでいきます。</p>

全体	No.23
個別	04-05

## 平成27年度 [市民生活部] 目標の成果


課名	美津島行政サービスセンター
----	---------------

No.	項 目	税の現年収納率の向上
	<b>1. 組織目標</b>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問接触、臨戸徴収、納税相談の件数を増やし、将来の納付に繋げる。</li> <li>・納付困難な滞納者の整理を図り、滞納額の圧縮に努める。</li> <li>・年間を通じ適正な申告をにより、滞納減額について支援する。</li> </ul> <p>【指標】</p> <p>平成27年度現年収納率 92.00%</p>
	<b>2. 実績(成果)</b>	<p>平成27年度現年収納率 93.17% (平成28年5月末現在)</p> <p>納税相談、訪問接触、訪問徴収等により昨年の収納率、目標を上回ることができた。次年度以降も、更に収納率の向上に努めたい。</p>
	<b>3. 評価</b>	<p style="text-align: center;">◎</p> <p>目標を上回る収納率を達成できている。 現年課税額が大きい滞納者との納付計画相談、自主納付がなされない滞納者への訪問徴収、申告による税額の圧縮等により目標を達成できた。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	<p>執行停止を推進し、累積滞納額の圧縮をすすめます。</p>

全体	No. 2 4
個別	04-06

## 平成27年度 [市 民 生 活 部] 目標の成果

課 名	美津島町行政サービスセンター
-----	----------------

No.	項 目	水道料金の収納率向上
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>水道料金の収納率向上に取り組み、新たな滞納額の縮減に努めます。 また、過年度分の滞納額徴収を積極的に取り組み、滞納額全体の縮減に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>現年度分滞納額の縮減 (500万円以下*27年5月末 5,597千円) 過年度分の滞納額徴収 (700万円以下*27年3月末 8,529千円)</p>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<p>現年度分滞納額 * 27年度 4,502千円 (28年5月末) 過年度分滞納額 * 27年度 6,802千円</p> <p>平成27年9月に催告書、12月に給水停止予告書を送付し、取組強化を図りました。また、納付奨励の取組を実施しました。</p>	
	<b>3. 評 価</b>	
	<p>平成27年度は、滞納額が僅かながらではあるが減少したものの、一定の成果とまでは言えない状況でした。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>納付誓約・分納の取組を継続し、また催告書、給水停止予告書の送付後、給水停止の取組強化を実施します。</p>	

全体	No.25
個別	05-01

## 平成27年度 [福 祉 部] 目標の成果

課 名	福 祉 課
-----	-------

No.	項 目	高齢者福祉及び障害者福祉サービスの充実
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者福祉サービス 高齢者が暮らしやすい環境整備と生活支援の推進を図ります。</li> <li>・ 障害者福祉サービス 障害者の必要に応じたサービスの提供に努めます。</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者福祉サービス 高齢者生活支援事業として、食の自立支援助成（配食サービス）、生きがい活動支援助成（デイサービス）、軽度生活支援助成（ホームヘルパー）の充実を図り、在宅の高齢者がいきいきと毎日を健康で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を密にし、孤独死「ゼロ」を目指します。</li> <li>・ 障害者福祉サービス 職員の障害者福祉に関する知識と意識を高め、障害のある人の個別のニーズに応じたサービス提供を図り、障害者が地域において自立した日常生活や社会生活を営まれるよう、関係機関と連携体制を確立し、住みよい地域づくりに努め、苦情「ゼロ」を目指します。</li> </ul>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者福祉サービス 関係機関と連携を密にし、平成27年度において、食の自立支援（配食サービス）延べ35,380回、生きがい活動支援（デイサービス）延べ392回、軽度生活援助（ホームヘルパー）延べ249時間の助成を行った。</li> <li>・ 障害者福祉サービス 複雑・多様化する障害者のニーズに対応するため、平成27年3月に第4期対馬市障害福祉計画を策定し、障害のある方が安心して生活を営むことができる支援体制づくりを図っております。</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>高齢者福祉サービスについては、高齢者と直接対峙する機会を増やすことで安否確認を行い、高齢者の孤独死を未然に防ぐことに繋がっている。また、障害福祉サービスにおいては、職員の研修会等の参加により、知識と意識を高め、障害をお持ちの方が安心してサービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り、スムーズな事務処理に心がけました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>高齢者及び障害のある方が安心して生活できる地域づくりを目指し、関係行政機関や市内外の関係施設等との連携体制を密にし、サービスの空白地をなくす支援体制の整備を図ってまいります。</p>

全体	No. 2 6
個別	05-02

平成 2 7 年度 [ 福 社 部 ] 目標の成果

課 名	こ ども 未 来 課
-----	------------

No.	項 目	保育料収納率の向上
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>未納保育料及び滞納保育料については、納入催促通知書等の通知、臨戸徴収や納付相談を実施するとともに、各担当者との連携を図り、早めの徴収を念頭に収納率の向上を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>現年分収納率 9 8 . 0 %</p> <p>滞納分収納率 5 5 . 0 %</p>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<p>平成 2 7 年度収納率</p> <p>現年分収納率 9 7 . 3 8 %</p> <p>滞納分収納率 3 8 . 3 9 %</p>	
	<b>3. 評 価</b>	△
	<p>平成 2 7 年度実施として、未納・滞納者へ催告通知書等を送付し、納入計画誓約書及び児童手当等を窓口徴収する等対応しました。現年分収納率においては平成 2 6 年度 9 6 . 5 % から平成 2 7 年度 9 7 . 4 % と上昇したものの、滞納分収納率においては平成 2 6 年度 4 0 . 4 % から平成 2 7 年度 3 8 . 4 % と低下した結果となりました。収納率回復に向けての体制強化を図ります。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>対馬市未収入保育料事務取扱内部規定の見直しを行い、対馬市未収入利用者負担額事務取扱要綱を策定しました。また、対馬市子どものための教育・保育に関する利用者負担額の特別徴収に関する規則も併せて策定しましたので、これに基づき確実に事務を執行し、各保育所担当との連携を図りつつ、業務を遂行することによって収納率の向上を図ります。また、住居不明者等の不納欠損処理を行います。</p>	



全体	No. 2 7
個別	05-03

平成 2 7 年度 [ 福 社 部 ] 目標の成果

課 名	こ ども 未 来 課
-----	------------

No.	項 目	職員相互の連携体制の強化による適正な支援サービスの提供
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>通常業務におけるチェック体制とバックアップを行うための協力体制の確立を強化します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己業務のみに止まらず、他者の業務への理解と協力</li> <li>○担当業務を熟知し責任感をもって、市民の立場に立った迅速な対応</li> <li>○窓口・電話等の接遇マナーの徹底</li> <li>○あいさつプラス1運動の導入</li> <li>○毎週1回の課内会議の開催による情報共有</li> </ul>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己業務のみに止まらず、他者の業務への理解と協力 ⇒だいたいできました。</li> <li>○担当業務を熟知し責任感をもって、市民の立場に立った迅速な対応 ⇒迅速な対応ができました。</li> <li>○窓口・電話等の接遇マナーの徹底 ⇒苦情等は、見られませんでした。</li> <li>○あいさつプラス1運動の導入 ⇒積極的な声かけ等ができました。</li> <li>○毎週1回の課内会議の開催による情報共有 ⇒年度途中から実施できませんでした。</li> </ul>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>苦情「ゼロ」に向けた体制作りを図り、職員相互間において声かけ、ふりかえりを徹底して、迅速な対応を心がけました。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>各担当業務の知識を深め、また全体業務を把握し、市民への適切且つ手広い対応に努めます。また、常に「笑顔」を忘れずに気持ちよい接客を心がけます。</p>	

全体	No.28
個別	06-01

平成27年度 [保 健 部] 目標の成果

課 名	健 康 増 進 課
-----	-----------

No.	項 目	健康つしま21計画の推進
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>生涯を通じて元気に生きるための健康づくりの行動指針や推進方策を示す保健計画「健康つしま21」に基づき、効果的な活動を展開していきます。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続して実施する。</li> <li>・市内5か所のウォーキング大会を主催または共催等により実施し、市民の健康づくりに役立てる。参加者総数1000名を目標とする。</li> <li>・健康づくり等の情報をCATVや市報等で発信する。</li> </ul>
	2. 実 績 ( 成 果 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続実施して、市民への健康づくりの啓発を行った。</li> <li>■ 市内5か所のウォーキング大会を主催または共催等により実施した。参加者総数は1,012名と目標を達することができた。</li> </ul>
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 歩いてつくる元気のおキャンペーンを継続実施を通して、市民への健康づくりの啓発を継続実施できた。</li> <li>■ 5か所のウォーキング大会で目標の参加者数には達しなかったが多くの市民の方に参加をいただくことができ健康づくりにつながった。</li> </ul>
	4. 今 後 の 展 開	<p>今年度組織目標は達成できたが、引き続き、歩いてつくる元気のおキャンペーンやウォーキング大会は継続していく等、市民の健康づくり啓発に取り組んでいきます。</p>

全体	No.29
個別	06-02

平成27年度 [保 健 部] 目標の成果

課名	健康増進課
----	-------

No.	項目	慢性腎臓病（CKD）対策
	<b>1. 組織目標</b>	<p><b>【内容】</b> 慢性腎臓病（CKD）の発症や進行は糖尿病等を起因とする生活習慣病が強く関わっており、その改善や薬物療法等によって進行を抑えることが可能な疾患であるにも関わらず、その重要性が十分に理解されていない。日本では成人人口の10.6%が慢性腎臓病（CKD）と予測され、重症化した際の透析患者は医療費高騰の要因である。そこで、対馬保健所等と協力して平成25年度から3カ年計画で対策事業を実施する。 併せて、調剤薬局薬剤師による糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。</p> <p><b>【指標】</b> ・CKDについて理解を深める。 ・糖尿病受診勧奨レベル者に対するアプローチで、CKDリスク者を減少させる。（レベル者の減少及び治療中断者の防止） ・検討会・研修会に参加する。 ・CATVや広報等で普及啓発する。（年4回以上） ・糖尿病性腎症重症化予防事業参加希望者に生活習慣改善のための保健指導を実施する。</p>
	<b>2. 実績（成果）</b>	<p>■ 専門職対象の地域診断研修会開催 検討会3回開催（6/25、11/19、3/7） 研修会1回開催（8/31） 報告会2回開催（1/27、2/9）</p> <p>■ 広報活動 市報2月号（0.8ページ）に記事を掲載 CATV文字放送 8月、10月</p> <p>■ 糖尿病性腎症重症化予防事業を開始し、対象者に対して調剤薬局の薬剤師が生活指導等を実施した。</p>
	<b>3. 評価</b>	○
		<p>3カ年計画の3年目にあたり計画したことは実施できた。今後のCKDの取り組みや他の保健事業にも影響するものと考える。 糖尿病性腎症重症化予防事業についても実施できた。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	<p>医療費抑制に向けた慢性腎臓病（CKD）対策事業の早期実施に向けて検討していきます。 糖尿病性腎症重症化対策事業をさらに推進していきます。</p>

全体	No.30
個別	06-03

## 平成27年度 [保 健 部] 目標の成果

課 名	健 康 増 進 課
-----	-----------

No.	項 目	市民健診の受診率向上
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p><b>【 内 容 】</b> 平成20年度からスタートした特定健診も第1期を終了して7年目を迎えます。対馬市特定健診・保健指導プログラムに基づき、特定健診受診率の向上と保健指導の充実に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診勧奨広報活動を強化して特定健診受診率40%、特定保健指導初回面接実施率65%を実現する。</li> <li>・生活習慣病の予防に資する講演会を開催する。</li> <li>・健診推進員を雇用し、未受診者への電話や臨戸訪問等による勧奨を図り、受診率の向上を推進する。</li> </ul> <p><b>【 指 標 】</b> 特定健診受診率40%を目標とする。 特定保健指導初回面接実施率65%を目標とする。</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定健診受診率36.9%（推計）と目標値には達しなかった。</li> <li>■受診率向上推進員を5人雇用して、未受診者に対して、個別通知、電話勧奨、戸別訪問を実施した結果、新規受診者の獲得に成功した。 26年度未受診で27年度受診した人 816人（前年 948人）</li> <li>■特定保健指導は初回面接実施率64.3%（前年63.6%）で目標を少し下回った。</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>受診率は目標の40%に対して実績36.9%（推計）と下回る結果となったものの、前年度の受診率37.0%（確定）とほぼ同率であり、健診推進員の活動が成果につながった。 また、特定保健指導については、初回面接実施率64.3%で、目標を達成しなかった。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康つしま21事業等の健康づくり事業との連携</li> <li>②対馬市健診推進員の雇用（未受診者への電話と臨戸訪問）</li> <li>③受診勧奨ハガキの郵送</li> <li>④事業所健診の国保被保険者データの取込み（継続）</li> <li>⑤人間ドック助成事業の周知徹底を行い受診結果の取込みを増やします。</li> </ul>

全体	No. 3 1
個別	06-04

平成 2 7 年度 [保 健 部] 目標の成果

課 名	地域包括・医療対策課
-----	------------

No.	項 目	地域包括ケアシステム構築の推進
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>地域包括ケアシステムの構築を目指し検討委員会を設置して、各方面の意見を取りまとめた提言書を作成します。また、地域包括ケアシステムの考え方を市民に理解していただくため講演会を開催します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の開催（1回）</li> <li>・検討委員会開催（5回以上）</li> <li>・提言書の作成</li> </ul>	
	<b>2. 実 績（成果）</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の開催（2回：H27. 4. 21、H28. 2. 14）</li> <li>・検討委員会の開催（年間7回）</li> <li>・提言書の作成（H27. 12月に完成し、対馬市へ提出しました。）</li> </ul>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>指標として掲げていた項目については計画通りに実施することができました。</p> <p>検討委員会においては、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの5つの柱ごとに課題抽出と目指すべき方向性について詳細に協議し、提言書に反映することができました。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>今後は、提言書にあがった課題等について継続的に見直しを図り、各課題の解決に向けた協議を関係部署・関係機関とともに進めていきます。</p>	

全体	No.3 2
個別	07-01

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画総合対策支援事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <p>『對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画』に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。</p> <p>①生産者のやる気を倍増 価格の安定化(しいたけ安定価格買取)</p> <p>②生産量を倍増 作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度)</p> <p>③系統(全農市場)外出荷量を倍増 分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○大型生産団地導入支援 1 団地 ○しいたけ生産推進 種駒補助1,300万個 原木補助26万本 ○對馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展10回 調理方法開発・発信 1 式 ○しいたけ生産者後継者 3名 選別作業員 8名 ○生産量 乾80トン 生80トン</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>○大型生産団地導入支援 1 団地 (しいたけ生産組合小鹿協業体) ○しいたけ生産推進 種駒補助 約1,217万個 原木補助 約25万本 ○對馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展40回 ○しいたけ生産者後継者 3名 選別作業員 8名 全員が委託先の(株)翔榮において正規雇用 ○生産量 乾47.9トン 生82.2トン</p>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>全国的に凶作の中で生産量、生産額ともに前年を下回ったものの、原発事故によるセシウム風評被害も収束を迎えつつあります。品薄感から市場取引価格も上昇してきています。国の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用した担い手・後継者対策において、委託先の(株)翔榮にて全員正規雇用の成果を得ることができました。一昨年から続く凶作により生産量が落ち込んでいるものの、地道な営業活動により新規販路開拓及び拡大が実を結びつつあります。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>第3次しいたけ振興計画「對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画」では、生産体制の充実に努めることはもとより、流通体制まで大きく踏み込んだ計画を策定しました。安全安心なしいたけの新規販路開拓・消費拡大に向けて、関係機関一丸となって取り組めます。</p>

全体	No.33
個別	07-02

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	【 内 容 】	国・県等の補助制度等の活用による間伐事業を現状の森林状況に沿った計画的な間伐を進めます。なお、J-VER制度については、平成24年度までにクレジット発行まで出来たことからクレジットの売買を加速させます。また、間伐材売払金及びクレジット売買収入金による基金を森林整備の財源として利用します。
	【 指 標 】	
	【市有林整備】	①森林整備面積：16ha（利用間伐）②路網整備：L=3,000m
	【 J - V E R 制 度 関 係 】	①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（5回） ②クレジット販売：100t-CO2（収入金：800千円）③新規契約件数：3件
	【基金の活用】	①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,500千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（2,500千円）
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	【市有林整備】	①施業実施面積：利用間伐 面積（7.86ha）材積（830.7m <sup>3</sup> ） ②路網整備：1,467m
	【 J - V E R 制 度 関 係 】	①クレジット売買の為の企業訪問及びイベント参加：8回 ②クレジット販売：10件 70t-CO2（収入金：714,600円） ③新規契約件数：5件 ●クレジット残量：1,211t-CO2
	【基金の活用】	①ツシマヤマネコと共生する地域森林管理行動計画策定業務 1,490,400円 委託業者：(株)愛植物設計事務所 モデル地区（舟志地区） 説明会2回 ②対馬市環境配慮型森林整備補助金交付要綱制定（平成27年2月1日） 補助金申請 0件
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>●間伐実施面積が7.86haと計画に満たなかったが、12林齢の山林で素材生産量は増加している。しかし分収林契約の山林であるため、市6民4の割合にて間伐材売払収入は、前年並みの364万円を森・川・里・海環境保全再生基金に充当しました。</p> <p>●新規契約はあったが、売買数量が少量であったため、前年より50t-CO2減で収入も60万円の減収となる。</p> <p>●舟志地区をモデル地区として、ツシマヤマネコ等の生物との共生を目指した森林施業のあり方を検証していくために森林所有者との意見交換が出来た。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		森林の有する諸機能を高度に発揮させるために、適正な森林施業を実施し、健全な森林資源の維持増進を図ります。また、J-VER関係においてはクレジット販売を強化するため、引き続き全国イベントへの参加や埼玉県制度への本格参画のため、埼玉県内の目標未達成事業所への売り込みを継続して行います。

全体	No. 3 4
個別	07-03

## 平成27年度 [ 農 林 水 産 部 ] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	対馬猪鹿活用促進事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	【 内 容 】	<p>対馬猪鹿活用促進事業で、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状把握をさらに進め、要請があった地区には直接出向き、地域住民に情報をフィードバックしたい。ただし対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹したい。(行政依存体質の脱却)</p> <p>被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、既存柵の機能向上、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低いことから、期間を定めて「イノシシ・シカに関する対策相談」等を個別に開催し、農業振興と被害対策についての正確な情報提供に努める。</p> <p>また、農林業従事者、有害鳥獣捕獲従事者、行政担当等でワークショップを開催し、農林業振興と有害鳥獣問題を横断的、多面的に話し合い問題解決に向けた意見の集約を実施する。さらには有害鳥獣対策に多くの市民が関わるためのきっかけに皮革製品や食肉加工品等、利活用の普及啓発活動を行う。</p>
	【 指 標 】	<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区          ②地区捕獲隊増加数：5地区          ③「イノシシ・シカに関する対策相談」開催：12箇所          ※対馬振興局農業振興普及課による農業指導も同時開催計画中。          ※各町2箇所ずつ島内12箇所で開催。          ④ワークショップ開催：年4回          ⑤有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子供達）育成          ⑥各種防護対策の実施</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：3地区          (居住区域内安全対策として防護柵を集落周辺に設置)          ②地区捕獲隊増加数：4地区(厳原町上槻地区、厳原町安神地区、峰町佐賀地区)          ③「農業相談会及び防護柵要望受付」開催：0箇所          ※農業相談会ではなく被害対策サポート事業として島内全域に随時職員が出向き対応          ④ワークショップ開催：1回(対馬いとなみ協議会主催：10/18 約50名参加)          ⑤厳原中学校1年生約60名対象に有害鳥獣対策の授業実施(合計10時間)              イノシシソーセイジづくり教室(対馬市民 約20名参加)              レザークラフト講座(対馬市民、市職員等)              資源活用推進(衛生的な解体・加工実施、皮革を活用した普及啓発活動実施)          ⑥各種防護対策の実施(国交付金、市単独補助事業を活用)</p>
	<b>3. 評 価</b>	○
		目標はほぼ達成できましたが、今後においても継続した取り組みが必要です。
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>今後は、やる気ある地域を積極的にサポートし、地域住民に自信とやる気を持ってもらう必要があります。(小さな成功体験の積み重ね)</p> <p>資源活用については、多くの市民を巻き込んだ有害鳥獣対策を促進するためのツールとして、積極的に取り組み、さらには、対馬の新たな産業、雇用創出に繋がりを、地域を守る事がお金になる仕組みを構築に取り組みます。</p>



全体	No. 3 5
個別	07-04

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	学校給食地場農林水産物導入事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】 学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行います。</p> <p>【 指 標 】 農林水産物の需給システムを構築します。</p> <p>学校給食に地場産品を使用する割合：重量比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米 年40回 (補助限度回数)</li> <li>・ しいたけ 100%</li> <li>・ 野菜 ※ 30% ※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち、アスパラガス 60%</li> <li>たまねぎ 40%</li> <li>じゃがいも 40%</li> </ul> </li> <li>・ 海藻類 年30回以上</li> <li>・ 魚介類 年35回以上</li> </ul>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>需給システム構築のため、農協、振興局、給食栄養士及び市で協議を行いました。</p> <p>学校給食に地場産品を使用する割合：重量比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米 年54.6回</li> <li>・ しいたけ 89.8%</li> <li>・ 野菜 ※ 15.6% ※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち、アスパラガス 67.7%</li> <li>たまねぎ 27.4%</li> <li>じゃがいも 25.1%</li> </ul> </li> <li>・ 海藻類 年33.5回</li> <li>・ 魚介類 年46回</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>海藻類、魚介類については目標を達成し、前年よりも使用回数が増加しています。また、アスパラガスについても同様に目標達成していますが、野菜全体としての使用割合はまだ少ない状態です。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>地場産野菜の使用割合を高めるため、農家や農協に協力を仰ぎながら、安定して供給出来る体制を整えて、目標達成に向けて取り組みます。</p>

全体	No.36
個別	07-05

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「海洋保護区の設定」
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
		<p>【 内 容 】</p> <p>水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申を検討し、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 魚種漁法毎の7部会等を通して資源管理計画を作成します。</li> <li>② 科学委員会報告書概要版、海洋保護区リーフレットを配布します。</li> <li>③ 海洋保護区PR番組、ホームページ等を作成します。</li> <li>④ 資源管理活動のデータ化を行います。</li> <li>⑤ 海洋保護区設定に関連する国内法、国際法の整理を行います。</li> <li>⑥ 九州大学等外部研究機関との連携を深めます。</li> </ol>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<ol style="list-style-type: none"> <li>① 魚種漁法毎の部会の設置及び資源管理計画の作成には至りませんでした。</li> <li>② 科学委員会報告書概要版、海洋保護区リーフレットを市内小中学校、各種イベント等で配布しました。</li> <li>③ 海洋保護区PR番組（第4話～第6話）、ホームページを作成しました。</li> <li>④ 資源管理活動のデータ化には、至りませんでした。</li> <li>⑤ 関連する国内法、国際法を抽出しました。</li> <li>⑥ 九州大学等外部研究機関と連携し、トレーサビリティの実証実験等に取り組みました。</li> </ol>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>対馬版海洋保護区設定推進に向け、海洋保護区設定推進協議会において、たたき台として「(仮称)海洋保護区しまうみ運営規範(第一次案)」を作成し、協議・検討を行いました。</p> <p>魚種・漁法毎の資源管理計画については、本格的な議論を始めることはできませんでした。</p> <p>普及啓発のため、「対馬市海洋保護区」のホームページを開設したほか、CATVによるPR番組の放送、科学委員会報告書概要版や海洋保護区リーフレットを配布しました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>引き続き「(仮称)海洋保護区しまうみ運営規範(第一次案)」の内容検討を行うとともに、海洋保護区設定推進に向け、まずは導入を実現するため、共同漁業権の海域において、魚種・漁法毎の資源管理計画を作成します。また、海洋保護区PR番組の放送、科学委員会報告書概要版やリーフレットの配布等により、対馬の海の重要性や海洋保護区設定の必要性についてPRします。</p>

全体	No. 37
個別	07-06

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「対馬食通祭の開催」
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の拡大及び対馬産の需要度を高めるために対馬市産物消費拡大推進事業（対馬食通祭）を展開します。</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <p>○3ヶ月間のイベントを実施。期間中はオープニング、中間、エンディング、期間中の4つのイベントを開催します。</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>1 島内でのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① オープニングイベント 11月22日(日) 会場：厳原 参加のべ人数1,000人</li> <li>② 中間イベント 12月19日(土) 会場：厳原 参加のべ人数400人</li> <li>③ 中間イベント 12月20日(日) 会場：上対馬 参加のべ人数300人</li> <li>④ エンディングイベント 1月31日(日) 会場：美津島 参加のべ人数1,200人</li> <li>⑤ 期間中のイベント 11月1日(日)から1月31日(日) 参加のべ人数10,500人 期間中、島内45店舗で対馬の食材を使用した料理を食べた方(1,000円以上)にビンゴカードを配布。配布枚数10,500枚(ビンゴ大会を②～④のイベント時に併せて開催)</li> </ul> <p>2 島外でのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① RKBラジオまつり 10月17日～18日 会場：福岡市 参加のべ人数700人</li> <li>② よりあい処つしまでのイベント 11月22日 会場：福岡市 参加のべ人数150人</li> <li>③ NTT西日本対馬食材フェア 11月26日 会場：福岡市 参加のべ人数150人</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>延べ1万4千4百人の方に対馬の農水産物の魅力を広めることができ、消費拡大の促進と対馬産地名度の向上へと起因する事業を行うことができました。また、初年度事業の目的である提供する側と食べる側の双方ともに、改めて対馬産に対する認識を深めることができ、「メイドイン対馬」の情報発信を効果的に行いました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>本事業は、27年度で終了となるが、今後も対馬の農水産物の魅力を広め、対馬産の知名度を上げることで、魚価の向上へと繋げたい。また、販路拡大、消費拡大の推進はもとより、これまで以上に地産地消の推進を進める上では島内の流通体制の整備を図る必要があります。</p>

全体	No.38
個別	07-07

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「魚礁設置」
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
		<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。近場の漁場を整備することにより漁業者の高齢化にも配慮した環境を整えることができます。</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚礁12,000空<sup>3</sup>（小綱1・小綱2・水崎1・水崎2・阿連：7,500空<sup>3</sup> 高浜・安神・久和：4,500空<sup>3</sup>）</li> </ul>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小綱1工区（小綱地先）1,571空<sup>3</sup> 【前年度製作1,112空<sup>3</sup>含む】</li> <li>・小綱2工区（小綱地先）1,422空<sup>3</sup></li> <li>・水崎1工区（水崎地先）1,513空<sup>3</sup></li> <li>・水崎2工区（水崎地先）1,513空<sup>3</sup></li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度繰越事業分は実施しましたが、平成27年度事業については測量試験実施及び安神工区・久和工区で年度末に契約締結したのみでした。平成28年度は平成27年度繰越分を含め実施へと繋げていきます。</li> </ul>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、平成27年度繰越事業分と平成28年度事業分を完了できるように取り組みます。</li> </ul>

全体	No.39
個別	07-08

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「水産物の輸送費補助」
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋がります。</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・168万2千箱分に対して支援を行います。</li> </ul>
	<b>2. 実績(成果)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・171万2千箱に対しての支援を実施しました。</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	<div style="text-align: center;">○</div> <p>・昨年度は対前年比7%減と予想を下回りましたが、今年度は目標168万2千箱分に対して171万2千箱分と1.8%ではありますが増加となり、漁業者の負担軽減に努めました。</p>
	<b>4. 今後の展開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、平成27年度分以上の実績を見込んでいます。</li> </ul>

全体	No. 4 0
個別	07-09

## 平成27年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果


課 名	基 盤 整 備 課
-----	-----------

No.	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
		<p>【 内 容 】 公共工事の早期発注、完成を図るため、12月末まで委託業務完了100%を目指します。事業効果の早期発現を図るため、12月末まで工事執行100%を目指します。</p> <p>【 指 標 】 平成27年末完了予定額                      100%目標 (1,372百万円) 平成27年末完了予定件数                  委託 13件      工事 21件</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<p>平成27年末(12月)完了額                  実績額 1,372百万円中、1,004百万円      73.0% 平成27年末(12月)完了件数              実績件数 工事 24件中、19件 委託 21件中、11件</p> <p>漁港事業においては、新規着手工種が多数発生したことにより、設計協議に日数を要し進捗が遅れました。また、工事については諸手続きの遅延や、同一工種における前年度繰越工事の工期制約を受けたため執行が遅延しましたが、繰越工事は縮減傾向にあります。林道事業については、新規路線の設計協議に日数を要したため、工事発注時期が遅れ、目標を達成することができませんでした。</p>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>早期着工については、国の早着認可制度等を利用して行いましたが、新規着手工種の許認可事務及び、測量、調査、設計等の委託業務や地元協議に時間を要した事により、本工事着手が遅れ目標100%達成が出来ませんでした。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>未着手分の早期着工及び新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を目指します。 また、地元要望に迅速に対応するため、関係者と連携を取りながら適切かつ有効な事業計画の立案に努めます。</p>

全体	No.41
個別	08-01

平成27年度 [建設部] 目標の成果

課名	管理課
----	-----

No.	項目	市営住宅使用料未収金の縮小
	<b>1. 組織目標</b>	
	【内容】 収納計画を策定し、未収額の縮小に努めます。	
	【指標】 市営住宅使用料の徴収率 現年分 98.50% 滞納分 42.25% 計 90.71%	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	市営住宅使用料の徴収率 現年分 95.73% 滞納分 23.99% 計 85.28%	
	市営住宅使用料	(単位：千円)
		現年分                      滞納分                      合計
	調停額(現年・過年)	139,203                      23,750                      162,953
	収入実績	133,263                      5,698                      138,961
	徴収率	95.73%                      23.99%                      85.28%
	<b>3. 評価</b>	
	・滞納者に対し、文書による督促事務を行い、納付依頼を実施いたしました。 ・督促文書送付で未支払者に対し、訪問・文面による納付確約又は連帯保証人へ納付指導を行いました。	
	以上の事務の徹底により目標数値を目指しましたが、長引く不景気や不漁等により納付約束の不履行が顕著となり、目標徴収率を下回りました。	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	・引き続き、年間を通しての対面による納付依頼を強化し納付対策に取り組みます。	

全体	No.4 2
個別	08-02

## 平成27年度 [ 建設部 ] 目標の成果

課 名	建 設 課
-----	-------

No.	項 目	公共工事の早期発注、早期完成に努めます。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計）                              8件      59百万円      《100%目標》</p> <p>平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事）                              15件     521百万円      《100%目標》</p>	
	<b>2. 実績（成果）</b>	
	<p>（測量・調査・設計）</p> <p>平成27年度12月末設計書作成件数                  12件            平成27年度12月末発注額                          46百万円</p> <p>（工事）</p> <p>平成27年度12月末設計書作成件数                  12件            平成27年度12月末発注額                          356百万円</p> <p>※災害発生件数 道路7件、河川16件、海岸1件 査定額202百万円</p>	
	<b>3. 評 価</b>	<input type="radio"/>
	<p>組織目標に掲げた設計書作成件数については、委託関係は目標以上の成果をあげることが出来たが、工事は目標を若干下回った。また、発注額については、委託・工事とも、僅かではあるが目標を達成できなかったが、9月に発生した災害（24箇所）対応に追われたことを考慮すれば、概ね達成出来たと考える。繰越事業費も前年に比べ減少した。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって、市民の生活基盤の底上げを図るものことから、今後におきましても早期発注、早期完成に努めます。</p>	



全体	No.43
個別	09-01

## 平成27年度 [水道局 (部)] 目標の成果

課名	水道課
----	-----

No.	項目	水道事業及び簡易水道事業の経営統合
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>「対馬市水道ビジョン」の計画に基づき、平成28年度末に水道事業及び簡易水道事業を経営統合することとし、今年度は「固定資産及び水道資産の把握」、「統合後の水道料金の検討」、「水道事業統合のための国への認可申請」に取り組み、水道事業の更なる経営改善に努めていきます。</p> <p>【指標】</p> <p>① 固定資産及び水道資産の把握            ② 統合後の水道料金設定に向けての検討            ③ 水道事業統合のための国への認可申請</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>① 固定資産及び水道資産の把握            一部不明確な部分はあるものの、概ね完了しました。</p> <p>② 統合後の水道料金設定に向けての検討            平成28年度に水道料金検討委員会を開催し、検討を進めることとしました。</p> <p>③ 水道事業統合のための国への認可申請            平成28年度中に事業統合の認可手続きを行うこととしました。</p>	
	<b>3. 評価</b>	×
	<p>① 固定資産及び水道資産の把握            資産の把握は概ね完了しましたが、一部不明確な部分があるため、目標を達成することができませんでした。</p> <p>② 統合後の水道料金設定に向けての検討            資産の把握が遅れたため、料金の検討段階に至ることができませんでした。</p> <p>③ 水道事業統合のための国への認可申請            認可申請書の作成が遅れたため、県等との協議を行うことができませんでした。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>平成28年度において、以下のことに取り組み、経営統合に向けての作業を進めていきます。</p> <p>① 固定資産及び水道資産の把握            早期に資産の全体把握ができるよう努めます。</p> <p>② 統合後の水道料金設定に向けての検討            水道料金検討委員会を開催し、「水道料金のあり方」について検討します。</p> <p>③ 水道事業統合のための国への認可申請            統合認可について、県等との協議を進め、早期に提出できるよう努めます。</p>	

全体	No. 4 4
個別	09-02

## 平成27年度 [水道局 (部)] 目標の成果

課 名	水 道 課
-----	-------

No.	項 目	水道料金の収納率向上																															
	<b>1. 組 織 目 標</b>																																
		<p>【 内 容 】</p> <p>経営の効率化と健全な事業運営を図るためには、水道料金の収納率向上は喫緊の課題であり、今年度も前年度に引き続き、新規滞納者の発生予防、納付確約(分納)の取り組み強化、給水停止の強化に取り組めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>収納率(現年度分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対馬市水道事業      96.5% (前年度目標 96.3%)</li> <li>・対馬市簡易水道事業 98.5% (前年度目標 98.4%)</li> </ul>																															
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>																																
		<p>収納率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">対馬市水道事業</td> <td>現年度分</td> <td>95.34%</td> <td>95.61%</td> <td>△ 0.27%</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>55.16%</td> <td>62.05%</td> <td>△ 6.89%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>92.80%</td> <td>93.80%</td> <td>△ 0.10%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">対馬市簡易水道事業</td> <td>現年度分</td> <td>98.39%</td> <td>98.27%</td> <td>0.12%</td> </tr> <tr> <td>過年度分</td> <td>29.25%</td> <td>31.64%</td> <td>△ 2.39%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>95.53%</td> <td>94.95%</td> <td>0.58%</td> </tr> </tbody> </table>			平成27年度	平成26年度	対前年度比	対馬市水道事業	現年度分	95.34%	95.61%	△ 0.27%	過年度分	55.16%	62.05%	△ 6.89%	計	92.80%	93.80%	△ 0.10%	対馬市簡易水道事業	現年度分	98.39%	98.27%	0.12%	過年度分	29.25%	31.64%	△ 2.39%	計	95.53%	94.95%	0.58%
		平成27年度	平成26年度	対前年度比																													
対馬市水道事業	現年度分	95.34%	95.61%	△ 0.27%																													
	過年度分	55.16%	62.05%	△ 6.89%																													
	計	92.80%	93.80%	△ 0.10%																													
対馬市簡易水道事業	現年度分	98.39%	98.27%	0.12%																													
	過年度分	29.25%	31.64%	△ 2.39%																													
	計	95.53%	94.95%	0.58%																													
	<b>3. 評 価</b>	△																															
		<p>滞納者に対し、定期的に督促及び催告を実施し、また、給水停止等の措置を講じましたが、水道事業については前年度を0.27%下回り、目標に1.16%到達することができませんでした。また、簡易水道事業については前年度を0.12%上回ることはできましたが、目標に0.11%到達することができませんでした。</p>																															
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>																																
		<p>今後も、滞納者に対しての督促、催告等の納付指導を継続して行い、また、長期(3ヶ月以上)の滞納者に対しては、給水停止の措置を強化し、納付意識の高揚に努めていきます。</p>																															

全体	No.45
個別	10-01

## 平成27年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	イベントと連携した体験型観光の推進
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>・豊玉町管内で開催されるイベント（シーカヤック大会）と連携した体験型観光を推進し、浅茅湾をはじめ和多都美神社などの観光資源の活用を促進します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>シーカヤック大会参加者数 100名</p>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<p>平成27年度は8月30日にシーカヤック大会が開催され、地域振興課としてもスタッフとして企画から準備、当日と地元商工会青年部をはじめ商工会員や地元で結成される実行委員会とともに参加しました。</p> <p>実行委員会を中心に、地域振興課としても本イベントのPRを行い、参加の呼びかけを積極的に実施しましたが、目標に達する事ができませんでした。</p> <p>しかし、本イベントもかなり定着し、開催日の日程などの要因もあり参加者数に影響を受けますが、シーカヤックというアイテムを活用した、体験型観光の推進はある程度の成果はあると思われる。</p>	
	<b>3. 評 価</b>	△
	<p>参加者数の目標は100名としておりましたが、実績は74名と目標に届きませんでした。</p> <p>夏休みも終わりという時期もあり、参加者数を伸ばすことができませんでした。（潮位の関係から日程を決定）</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>地域としても、シーカヤックを通して親睦を深めるとともに、和多都美神社をはじめとした浅茅湾という観光資源をPRする大事なイベントと位置づけていることから、引き続き地域と連携していきます。</p>	

全体	No.46
個別	10-02

## 平成27年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	観光地の景観維持活動
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>・ 神話の里自然公園や烏帽子岳展望所等の景観維持活動を行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>職員による園内の朽木伐採と景観維持活動を実施します。（年2回実施）</p>	
	<b>2. 実 績（成果）</b>	
		平成27年度においては、課としての取り組みができませんでした。
	<b>3. 評 価</b>	×
		平成27年度においては、課としての取り組みができませんでした。 目標設定をしているにもかかわらず、実施できなかったことにつきましては、非常に反省すべきです。
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		神話の里及び烏帽子岳展望所は、国内外からの観光客も多く継続的な維持管理を行っていきます。

全体	No. 4 7
個別	10-03

## 平成27年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	窓口の適正かつ親切、丁寧な対応と管内の環境整備
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来庁者にまず「あいさつ」で接し、「親切」「丁寧」な対応を！ そして、事務処理において、常に「確認」を心がけます。</li> <li>・不法投棄防止の啓発に努めます。</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口、苦情件数「ゼロ」を目指します。</li> <li>・不法投棄箇所数の削減</li> </ul>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ」の励行、親切・丁寧な窓口対応については、ほぼ実行できた。</li> <li>・定期的に管轄地区内を巡回し不法投棄も発見したが、所有者の特定までは至らなかった。</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね実行できた。</li> <li>・巡回をすることで、不法投棄の抑制につながったと思われます。</li> </ul>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務及び電話での対応について、窓口苦情件数「ゼロ」を目指します。</li> <li>・今後も定期的に巡回を行い、不法投棄の根絶に努めます。</li> </ul>

全体	No.48
個別	10-04

## 平成27年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	税・水道料金の納付促進
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>①税の徴収率向上 ②水道料金徴収率の向</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税の現年度分徴収率を95%以上に、滞納分徴収率を10%以上にします。</li> <li>・水道料金の現年分徴収率を99%以上に、未収金額100万円を80万円に減額します。</li> </ul>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<p>①徴収率を上げるため、電話や文書、また未納者宅を訪問し、催促及び納付指導を行った結果、現年課税分徴収率は達成出来なかったが、滞納分徴収率は達成できた。 (現年度分徴収実績率：94.27%，滞納分実績率：10.39%)</p> <p>②徴収率を上げるため、電話や文書、また未納者宅を訪問し、催促及び納付指導を行ったが、目標指標を達成することは出来なかった。 (現年度分徴収実績率：98.43%，未収金実績額：1,073,360円)</p>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>目標の4項目中1項目しか達成できなかったが、限りなく目標に近づけることができた。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>今後も徴収率向上（特に現年分）に努め、未収金の減額を目指します。</p>

全体	No.49
個別	10-05

## 平成27年度 [中 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	峰行政サービスセンター
-----	-------------

No.	項 目	快適な窓口サービスの提供
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】 来庁されるお客様がスムーズに用件を済まされるよう、窓口体制の構築及びサービスの向上に努めます。(笑顔であいさつ、迅速かつ丁寧な対応、窓口の美化) ・主担当不在時の他職員のサポート体制の強化</p> <p>【 指 標 】 お客様のご用件に親切丁寧に対応し、お客様に満足いただけるよう、快適なサービス環境の構築により、「苦情ゼロ」を目指します。また、庁舎及び窓口の美化に努めます。</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>来庁されるお客様に満足いただけるよう、笑顔であいさつ、迅速丁寧な対応に心がけ「苦情ゼロ」のサービスが提供できました。</p>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>来庁者に親しみやすいあいさつとお客様を待たせない対応ができ、「苦情ゼロ」を実現できました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>窓口対応は、地域住民からのニーズに応える基本的なことであり、今後も引き続き、笑顔であいさつ、迅速丁寧な対応、窓口の美化に努め、お客様の満足いただける快適なサービス環境を目指します。</p>

全体	No.50
個別	11-01

## 平成27年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	地 域 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光の推進
	1. 組 織 目 標	
		【 内 容 】 北部対馬の豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進することにより、交流人口を増やし、産業を活性化させることで、地域の雇用拡大・消費拡大を図り、賑わいを取り戻すことを目指します。 ○トレッキングコースの整備 ○三宇田地域整備方針の検討 【 指 標 】 ○対馬の自然を活かした観光地整備を行い、観光客への満足度を高め、交流人口の拡大を目指す。（トレッキングコースの整備） ○観光客の満足度を向上させるため、三宇田地域の整備方針決定
	2. 実 績 ( 成 果 )	
		○トレッキングコースの整備については、平成27年度に完成。 ○三宇田地域整備方針の検討については、関係機関と協議しているが結論にまでは達していない。
	3. 評 価	△
		○トレッキングコースの整備については、年度内に達成できました。 ○三宇田地域整備方針の検討については、継続して関係機関と協議を重ね、方針を決定する必要があります。
	4. 今 後 の 展 開	
		○トレッキングコースの活用や観光客へのPRに力を入れ、観光客の増加、交流人口の拡大を目指します。 ○三宇田地域整備方針の検討については、今後も関係機関と協議を重ね整備方針の決定を目指します。



全体	No. 5 1
個別	11-02

## 平成27年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	住 民 生 活 課
-----	-----------

No.	項 目	窓口サービスの適正・迅速化に努めます。
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>職員相互間の情報共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応の向上に努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>窓口・電話対応に対する苦情「ゼロ」を目指す。</p>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		窓口・電話対応においては、全職員が協力し迅速で親切・丁寧な対応を心がけた。
	<b>3. 評 価</b>	○
		課内会議やBEAMなどの活用により職員相互間の情報の共有化及び協力体制の構築を図ることができた。 また、窓口・電話対応の向上に努めたことにより、大きな苦情は寄せられなかった。
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		接遇においてベストはないと思う。なお一層の窓口・電話対応の向上に努めていきます。

全体	No.5 2
個別	11-03

## 平成27年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	北 部 建 設 事 務 所
-----	---------------

No.	項 目	公共工事の早期発注、早期完成															
	<b>1. 組 織 目 標</b>																
	<p>【 内 容 】</p> <p>公共工事の早期着工に努めることにより、市の経済流通の初動を促進し、市民生活の活性化とともに、早期完成によって市民の生活基盤の底上げを図ります。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（測量・調査・設計）</p> <table border="0"> <tr> <td>総務費</td> <td>6 件</td> <td>84 百万円</td> </tr> <tr> <td>農林水産業費</td> <td>2 件</td> <td>22 百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td>16 件</td> <td>216 百万円</td> </tr> </table> <p>平成27年度12月末設計書作成件数及び予定額（工事）</p> <table border="0"> <tr> <td>農林水産業費</td> <td>7 件</td> <td>271 百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td>17 件</td> <td>708 百万円</td> </tr> </table>	総務費	6 件	84 百万円	農林水産業費	2 件	22 百万円	土木費	16 件	216 百万円	農林水産業費	7 件	271 百万円	土木費	17 件	708 百万円	
総務費	6 件	84 百万円															
農林水産業費	2 件	22 百万円															
土木費	16 件	216 百万円															
農林水産業費	7 件	271 百万円															
土木費	17 件	708 百万円															
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>																
	<p>( 測 量 ・ 調 査 ・ 設 計 )</p> <p>平成27年度12月末設計書作成件数及び発注額</p> <table border="0"> <tr> <td>総務費</td> <td>9 件</td> <td>74 百万円</td> </tr> <tr> <td>農林水産業費</td> <td>3 件</td> <td>13 百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td>19 件</td> <td>181 百万円</td> </tr> </table> <p>( 工 事 )</p> <p>平成27年度12月末設計書作成件数及び発注額</p> <table border="0"> <tr> <td>農林水産業費</td> <td>8 件</td> <td>206 百万円</td> </tr> <tr> <td>土木費</td> <td>16 件</td> <td>1,031 百万円</td> </tr> </table>	総務費	9 件	74 百万円	農林水産業費	3 件	13 百万円	土木費	19 件	181 百万円	農林水産業費	8 件	206 百万円	土木費	16 件	1,031 百万円	
総務費	9 件	74 百万円															
農林水産業費	3 件	13 百万円															
土木費	19 件	181 百万円															
農林水産業費	8 件	206 百万円															
土木費	16 件	1,031 百万円															
	<b>3. 評 価</b>	△															
	<p>組織目標に掲げた設計書作成件数については、12月末までに設計書作成及び起工を達成出来ましたが、新規事業及び工区が多く工事の発注が遅れ、繰越が増加する結果となりました。測量・調査・設計の早期着手及び用地及び補償の計画的な事務処理が課題となっております。</p>																
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>																
	<p>公共工事における測量・調査・設計の早期着手及び工事の早期着工に努め、事業の早期供用効果を図り、市民生活の利便性の向上に努めます。</p>																

全体	No.53
個別	11-04

## 平成27年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	観光基盤の充実と体験型観光の推進
3	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <p>対州馬、ツシマヤマネコなどの対馬固有の地域資源を活用し、島外からの交流人口の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対州馬とのふれあい事業の実施</li> <li>・対州馬保存管理基本計画の策定</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対州馬保存管理計画検討委員会により、関係機関と連携を図り計画の検討する。</li> <li>・目保呂ダム馬事公園の交流人口の拡大目標</li> </ul> <p>平成27年度目標：5,000人、平成27年度実績：4,509人（平成26年度：4,658人）</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>馬事公園での年間来場者数は目標を上回ることができませんでした。大きな要因は初午祭の参加者が他のイベント等と重なった事から参加者減少に繋がり、年間来場者数に影響が出たものと考察されます。しかし、夏休み時期においては、前年を上回る実績を残すことができました。また、啓蒙啓発活動においては、テレビ取材や島外イベントにも参加し、対州馬とのふれあい事業によりPR活動を実施しました。</p>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>福岡、佐世保など島外イベントにも積極的に参加し、対州馬の乗馬体験やふれあいイベントなどを通じ、対州馬の魅力を島外に発することができました。</p> <p>市内イベントにも積極的に参加し、市民のふれあいの場を提供することに努めました。</p> <p>また、マスコミの認知度もより一層上がり、新聞テレビ等の媒体でのPRが恒常的にできるようになりました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>対州馬の保存管理活用については、「対州馬保存管理基本計画」による事業の取り組みを実施し、関係する機関や民間団体、地域ボランティアと連携しながら推進していきます。</p> <p>日本在来馬の中でも希少な対州馬とふれあいの場を提供し、併せてPRを行うことで体験型観光客増大を図ります。</p>

全体	No.54
個別	11-05

## 平成27年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	窓口及び電話対応の向上
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>職員相互の情報の共有化を図り、各担当の業務内容の把握に努め、担当不在時の対応や複数来客時の対応など、窓口サービス及び電話対応の向上に努めます。</p> <p>また、電話対応では相手の立場に立った親切丁寧な対応に心がけ、トラブルがないよう努めます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>窓口、電話対応に対する苦情件数「ゼロ」</p>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<p>上県行政サービスセンター全職員が、来庁者に対して親しみやすい挨拶と、お客様を待たせない対応を常に心がけました。</p>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>窓口対応については、来庁者に対し親しみやすい挨拶とお客様を待たせない対応ができ、住民サービスにおける職員の資質向上、住民に親しみやすい組織づくりができたと考えます。</p> <p>常日頃から、親切丁寧な対応を心がけています。なお一層、職員の意識徹底を図っていきます。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>窓口及び電話対応は、地方自治体にとって地域住民からのニーズに応える基本的なことであり、今後も引き続き組織目標として、親しみやすく苦情のない組織づくりを目指していきます。</p>	

全体	No.55
個別	11-06

## 平成27年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	地域イベント・ボランティア活動への参加
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】 地域で開催されるイベントやボランティア活動に積極的に参加し、市民協働を推進します。</p> <p>【 指 標 】 職員の参加率「50%」を目標とします。</p>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<p>地元開催のあじさい祭・パラグライディング対馬大会、対馬初午祭、上対馬で開催の国境マラソンIN対馬などに上県行政サービスセンターの多数の職員が参加しました。</p> <p>また、管内の公園の草刈り等にも、休日、職員が自発的に参加する姿がありました。</p>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>上県行政サービスセンターの多数の職員が、地域で開催されたイベントやボランティア活動に積極的に参加し、地域住民との関わりの重要性を認識できました。</p> <p>また、管内イベントにとどまらず、管外におけるイベントにも多数の職員が参加し、イベントを支えました。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>今後も引き続き、地域イベント・清掃活動・福祉活動に積極的に参加し、地域との関わりを深め、市民協働を推進して行きます。</p>	

全体	No.56
個別	11-07

## 平成27年度 [上 対 馬 振 興 部] 目標の成果

課 名	上県行政サービスセンター
-----	--------------

No.	項 目	庁舎内外の清掃の徹底
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
		<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎内の週1回の清掃の徹底</li> <li>・ 週1回の庁舎内清掃に加えて、毎月始めの木曜日にセンター敷地並びに周辺の清掃、除草の徹底。</li> <li>・ ゴミや汚れを見つけたときの「即清掃」の徹底。</li> <li>・ 庁舎内から出るゴミの減量化と分別の徹底。</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎内の週1回の清掃。</li> <li>・ 月1回の敷地並びに周辺の清掃・除草。</li> <li>・ 今年度より事業系ゴミとして処理される庁舎内ゴミに関し、予定排出量を少しでも下回るよう、ゴミの「減量化」に取り組みます。</li> <li>・ 分別を徹底し、資源ゴミとします。</li> <li>・ センター周辺で除草した植物の緑肥化を図ります。</li> </ul>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<p>庁舎内の週1回の清掃及び月1回の敷地内の清掃については、目標通り取り組みました。ゴミの減量化についても、ミスプリント紙の裏紙としての利用や、封筒の再利用等で減量化を図ることができたと考えています。</p> <p>資源ゴミの分別についても、カン・ビン・段ボールなど、分別はできましたし、庁舎周辺の除草・緑肥化についても、職員で協力し目標を達成できたと思います。</p>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>庁舎内外の環境の善し悪しは、来庁される市民の皆様はもちろんのこと、周辺住民の皆様の市役所に対する印象に大きく影響を与えることから、今後もなお一層、職員の意識徹底を図っていきたいと思います。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>今後も現在の取り組みを強化し、よりよい庁舎内外環境となるよう、職員一丸となって目標を達成できるよう努めていきます。</p>

全体	No.57
個別	12-01

## 平成27年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	総 務 課
-----	-------

No.	項 目	分団車両の適正配置及び団員の安全装備品配備を進めていきます。
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>昨年度、分団の統合によって地区の組織作りが概ね完了し消防団の体制が見えてきました。</p> <p>本年度は、分団車両の適正配置の構築。合わせて消防団員の安全装備品の配備に着手します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●分団車両の適正配置 車両更新時期に合わせた配置計画を進めていきます。</li> <li>●消防団安全装備品配備計画を進めていきます。</li> </ul>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分団車両の適正配置 小型動力ポンプ付積載自動車5台（普通車1台、軽自動車4台）配置</li> <li>●消防団安全装備品配備計画 安全半長靴；700、耐刃性手袋；700、ライフジャケット；300、ヘッドライト；400を配備</li> </ul>	
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>分団車両の適正配置及び消防団員の安全装備品配備について、いずれも、平成27年度においては計画どおり配置、配備ができました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>平成28年度以降も引き続き計画に基づき配置、配備を進めていきます。</p>

全体	No.58
個別	12-02

## 平成27年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	警 防 課
-----	-------

No.	項 目	応急手当の普及啓発活動																												
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>「身近な人は自分達で守る」を主眼とし、救急隊到着までの市民による応急手当（心肺蘇生法・AEDの使用・止血法）の実施は極めて重要です。3カ年計画で進められた対馬市内のAED設置普及が168施設、民間施設も合わせると201基と設置台数も増加しており、設置施設の関係者だけでなくAEDの必要性を広く市民に周知して、万が一の事態に備える必要があります。</p> <p>本年度もCATV、市報等により広報を実施すると共に応急手当eラーニングを活用して講習会の受講時間の短縮を図りながら救急法等の普及に努めます。</p> <p><b>【 指 標 】</b> 延べ人員2,500名に受講していただく。</p>																												
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">講習種別</th> <th colspan="2">25年中</th> <th colspan="2">26年中</th> <th colspan="2">27年中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総受講者数</td> <td>89回</td> <td>1,723名</td> <td>115回</td> <td>2,050名</td> <td>52回</td> <td>979名</td> </tr> <tr> <td>普通救命講習</td> <td>35回</td> <td>530名</td> <td>34回</td> <td>274名</td> <td>18回</td> <td>173名</td> </tr> <tr> <td>救急法講習</td> <td>54回</td> <td>1,193名</td> <td>81回</td> <td>1,776名</td> <td>34回</td> <td>806名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">市民がAEDを利用した、救急事案（平成27年度） ◎市設置分 1件（内、適応有り 0件）</p>	講習種別	25年中		26年中		27年中		総受講者数	89回	1,723名	115回	2,050名	52回	979名	普通救命講習	35回	530名	34回	274名	18回	173名	救急法講習	54回	1,193名	81回	1,776名	34回	806名
講習種別	25年中		26年中		27年中																									
総受講者数	89回	1,723名	115回	2,050名	52回	979名																								
普通救命講習	35回	530名	34回	274名	18回	173名																								
救急法講習	54回	1,193名	81回	1,776名	34回	806名																								
	<b>3. 評 価</b>	×																												
		<p>AEDの設置場所の把握が徐々に市民に浸透して来ており、心肺停止患者発生時に利用されている状況です。</p> <p>CATV等をとおしてAED使用方法の広報を実施するとともに、普通救命講習や救急法の指導を27年度も推進しましたが、延べ受講者数979名に止まり目標受講者数を達し得ませんでした。</p>																												
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>24年度から3カ年計画で健康増進課が事業を進め、現在AEDの設置場所は市内で198箇所となっています。「突然死」を防ぐうえでAEDの使用効果は医学的に認められているところであります。</p> <p>今後とも事業所、学校等とともに各設置地区における救命講習の受講機会を設けてもらうように推し進めていきます。</p>																												



全体	No.59
個別	12-03

## 平成27年度 [消 防 本 部] 目標の成果

課 名	予 防 課
-----	-------

No.	項 目	住宅用火災警報器設置促進及び防火対象物の防火対策に取り組みます。
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>1 住宅用火災警報器設置促進のため、火災予防運動や広報を通して設置促進を図るとともに、住宅防火モデル地区の指定を行います。</p> <p>2 小規模な既存の宿泊施設に対する自動火災報知設備の早期設置指導を行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>1 住宅防火診断を行い、住宅用火災警報器低設置率地区50%未満地区を「0」にします。</p> <p>2 自動火災報知設備の義務対象となる小規模な既存の宿泊施設51施設に対して再通知を行い、全施設の早期設置に取り組みます。(設置猶予期間平成30年3月31日迄)</p>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<p>1 平成27年9月に巖原町阿連地区を住宅防火モデル地区に指定しました。火災予防運動及び防火イベント時に住宅用火災警報器設置促進広報実施。住宅用火災警報器設置率50%未満であった4地区が2地区に減少しました。</p> <p>2 自動火災報知設備の義務対象となる小規模な既存の宿泊施設51施設に対して10施設が設置を完了しました。</p>	
	<b>3. 評 価</b>	△
	<p>1 住宅用火災警報器設置促進は、目標指数に達し得ませんでした。低設置率地区には防火教室、説明会(住宅用火災警報器の奏功事例)を働きかけ地区主導の防火対策に取り組む必要があります。</p> <p>2 自動火災報知設備の義務対象となる小規模な既存の宿泊施設51施設に対して約20%の宿泊施設が設置を完了しましたが、41施設が残っています。再通知を行い早期設置に取り組む必要があります。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>住宅用火災警報器設置促進のため、住宅火災発生直後の設置指導、火災予防運動や広報を通して設置率の向上を目指すとともに、条例適合住宅の推進を図ります。また、前年度に引き続き「住宅防火いのちを守る7つのポイント」がプリントされた下敷きを500枚作成し、社会科見学、消防フェスタに来署する児童等に配布し、火災予防の啓発と防火思想の向上を図ります。</p>	

全体	No.60
個別	13-01

## 平成27年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	総務課
----	-----

No.	項目	教育施設の充実・整備、有効活用を推進します。
	<b>1. 組織目標</b>	
	<p>【内容】</p> <p>平成23年2月4日に示された対馬市立学校適正規模、適正配置等検討委員会の答申を受け策定した、対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、保護者説明会及び住民説明会を実施し、学校及び地域住民の理解のもと学校統廃合を進めます。</p> <p>【指標】</p> <p>○統合校 1校</p>	
	<b>2. 実績(成果)</b>	
	<p>保護者説明会及び地区住民説明会を実施し、対馬市立阿連小学校を対馬市立金田小学校へ統合することについて阿連地区の合意を得て、平成28年4月1日に統合しました。</p>	
	<b>3. 評価</b>	○
	<p>阿連地区の合意を得て、計画どおり1校の統廃合を実施いたしました。</p>	
	<b>4. 今後の展開</b>	
	<p>対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画をもとに、保護者及び地区住民の意向を十分尊重しながら学校の統廃合を推進します。併せて子どもたちが安全で安心して学校生活を送れるよう施設の環境整備を進めていきます。</p>	

全体	No.6 1
個別	13-02

## 平成27年度 [教 育 委 員 会] 目標の成果

課 名	学 校 教 育 課
-----	-----------

No.	項 目	確かな学力・豊かな心を育む教育活動の推進
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>【一人一人を大切にされた教育活動の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対馬市の特性を踏まえた教育の充実</li> <li>2. 教育内容の充実と指導力の向上</li> <li>3. 特別支援教育の充実</li> <li>4. 不登校児童生徒対策の充実・推進</li> </ol> <p>【 指 標 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対馬市の特性を踏まえた教育の充実               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 複式学級における学習指導の充実</li> <li>(2) 中高一貫教育の推進</li> </ol> </li> <li>2. 教育内容の充実と指導力の向上               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎・基本を図る指導方法の工夫と授業改善の推進</li> <li>(2) 各種研修会や学校訪問、指定研究校制度の実施</li> <li>(3) 環境保全を中心としたE S D教育の展開</li> </ol> </li> <li>3. 特別支援教育関係の研修会開催や連携体制づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 県立虹の原特別支援学校高等部対馬分教室との連携を探る</li> </ol> </li> <li>4. 不登校対策に係る関係研修会の開催と連携体制づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 関係機関との連携及び研修会の開催</li> </ol> </li> </ol>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対馬市の特性を踏まえた教育の充実               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 複式学級における学習指導の充実のため市内3校での指導法研修会を開催した</li> <li>(2) 中高一貫教育の推進のため、上対馬高校と中学校2校との授業交流等を実施した</li> </ol> </li> <li>2. 教育内容の充実と指導力の向上               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業改善研修を、小中学校それぞれで1回開催し研修を深めた</li> <li>(2) 初任者他経験年数に応じた研修会や島内2校の研究発表などを開催した</li> <li>(3) E S D教育の理解を進めるために、校長会や教頭会、教務主任会などで研修会を行った</li> </ol> </li> <li>3. 特別支援教育関係の研修会開催や連携体制づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 虹の原分教室との連絡協議会を年7回開催し連携を深めた</li> </ol> </li> <li>4. 不登校対策に係る関係研修会の開催と連携体制づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 不登校児童生徒のいる学校にソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを20回ほど実施できた。</li> </ol> </li> </ol>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>指標（数値目標）としてあげていた項目については、計画通りに実施するとともに内容の充実も図ることができました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 確かな学力の定着に向けて、教職員の指導力の向上をはかるため、教科指導法改善研修会等の各種研修会を実施し、成果を上げることができました。</li> <li>(2) 特別支援教育を充実させるため、各種研修会と連携した会議実施や関係機関との連携を図るとともに、介助員を有効に活用することができました。</li> <li>(3) 目標にあげた各事業については着実に実施でき、不登校者数の増加を防ぐことができました。</li> </ol>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>今後とも各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画的に実施し、児童生徒の確かな学力の定着を図るために努力します。また、27年度の学力調査の結果を分析し、新たに対策を考えます。特別支援教育の更なる充実のために虹の原特別支援学校高等部対馬分教室との連携を図ります。</p> <p>また、28年度は「ふるさと対馬を愛し、学び続ける人」を育てるために、これまでの指導体制の確立・充実を図ります。</p>	

全体	No.6 2
個別	13-03

## 平成27年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	生涯学習課
----	-------

No.	項目	しまの魅力に出会う日本の宝「しま」交流支援事業
	<b>1. 組織目標</b>	<p>【内容】 長崎県内の離島（対馬、壱岐、五島）3地区で、しまの魅力体験活動支援事業 本市では、自然豊かな「国境のしま」で夏休みの思い出づくり事業を実施し、島の人々や参加者同士の交流を深めるとともにシーカヤック体験・城山トレッキング・海浜活動・万松院見学・県立資料館など体験プログラムに組み込み、対馬の魅力を再認識し、実行委員会を中心とした地域教育力の向上と島の活性化の支援を目指します。</p> <p>【指標】 ○親子コース（2泊3日） ○参加対象者 小学4年生～中学3年生とその保護者（島外在住者）合計40名</p>
	<b>2. 実績（成果）</b>	<p>平成27年7月18日～7月20日島外から30名の参加を得て開催されました。 天候が悪く金田城からの眺めはよくなかったものの、1300年前に築かれた史跡を訪ねたり、県立歴史民俗資料館での説明では、教科書に出てくる歴史について、感動したといった意見を多く得られた。 参加者：子供16名、保護者14名</p>
	<b>3. 評価</b>	○
		ほとんどの参加者から、また、対馬市を訪れたい、次は家族で来たいといった声を多く得られ、十分な成果を上げることができた。
	<b>4. 今後の展開</b>	<p>対馬の再発見をし、人、自然、文化のすばらしい対馬に興味を持ってもらい、再度参加したいと思える体験を目指します。 実行委員会において、次年度の活動内容、雨天時の活動内容を検討する。 対馬市のホームページによる広報活動を実施します。</p>

全体	No.6 3
個別	13-04

## 平成27年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	文化財課
----	------

No.	項目	指定文化財の保護・活用を図ります
4	<b>1. 組織目標</b>	
	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指定文化財の保存整備</li> <li>②文化財に係る防犯対策と情報発信</li> <li>③盆踊り調査</li> </ul>
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指定文化財の保存整備（国指定4箇所、県指定1箇所）</li> <li>②文化財に係る防犯対策と情報発信の実施（文化財保護ネットワーク関係者会議開催1回、文化財保護審議会委員による巡視2回、防犯設備設置3箇所） 市報による情報発信12回、文化財・景観写真コンテスト実施 （応募目標 100点）</li> <li>③盆踊り調査（調査委員会の立ち上げ、会議開催1回）</li> </ul>
	<b>2. 実績（成果）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ほぼ計画どおり、保存整備工事を実施しました。</li> <li>②文化財保護ネットワーク会議を1回開催しました。文化財巡視については、文化財保護審議会委員や、市独自で委嘱した巡視員により実施しました。 防犯設備設置については市施設を含め4箇所設置しました。 市報に「わがまち再発見」記事を毎月掲載した他、随時文化財に関する情報を掲載しました。</li> <li>文化財・景観写真コンテストの応募点数は、88点で昨年度を上回りましたが目標の100点には届きませんでした。</li> <li>③盆踊り調査については計画どおり調査委員会を立ち上げ、会議を開催しました。</li> </ul>
	<b>3. 評価</b>	△
		<ul style="list-style-type: none"> <li>①各史跡の保存整備計画に従い、ほぼ計画どおり事業を実施出来ました。</li> <li>②文化財に対する情報発信を継続することで市民の意識を高めることができたほか、文化財・景観写真コンテストの実施と合わせ、一層文化財に対する普及啓発に努めました。ただ、写真コンテストの応募目標には達しませんでした。</li> <li>③盆踊り調査については計画どおり事業が進められました。</li> </ul>
	<b>4. 今後の展開</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>①史跡整備については今後も事業を継続し、利用者の利便性の向上を図りながら、有効活用を目指していきます。</li> <li>②関係機関と連携、市内巡視により文化財に対する防犯・防災対策に努めます。 文化財の普及活動・情報発信については、市報で引き続き関係する記事を掲載していくことに併わせ、写真コンテストやその他様々な機会を通じて、情報発信、文化財保護に対する啓発を図っていきます。</li> <li>③盆踊り調査については、調査委員会により調査を進め、貴重な伝統芸能の記録保存に努めていきます。</li> </ul>